・心鬼!	ましまりいめるのとりの休土や月以	

基本	の進捗・効果検証シート :方針1 受け継がれて 施策1 まとまりのあるみ										進捗評価 「Bモニター指標」、「C担当課によ A: すべての施策内容を実施すること B: 概ね施策内容を実施することができ C: 施策内容を実施することができ D: 施策内容のほとんどが実施でき	ことができ 「できてい ているも	ている。 いるが、実が のもあるか	布できていない施策がある。	
体策	1. 公園・緑地のみどり	の保	全や育	成											
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・千里中央公園やふれあい緑地など、 公園・緑地のみどりを良好な状態に保 つため、枯損木の撤去や枯れ枝の除	継続	公園み どり推 進課	В	公園・緑地の開設箇 所数(含服部緑地・ 猪名川公園)	箇所	(累計)	478	480	1				及び整備面積が増加しま	今後、公園・緑地の面積などの指標は、 市街地となっている本市では大幅な増加 見込めないものの、危険木の撤去後の複
	去、剪定、草刈りなどの適正な維持管理を行うとともに、千里緑地や島熊山緑地の千里丘陵などの雑木林や竹林		(維持 管理 係、整	モニタ	公園・緑地の開設面 積(含服部緑地・猪 名川公園)	mi	(累計)	2,837,260	2,837,931	1		D 公		除草、また危険木については伐採を行うなどの適 正な維持管理ができてい	部分の樹木の植栽や草花緑化などに努 ことでみどりの充実を図っていく必要がま す。
Δ	の健全な育成を推進するため、市民と の協働により、森林病害虫の防除や竹 間伐などの適正な維持管理を行いま		備改良 係)	指標	公園・緑地の整備箇 所数	箇所	(単年)	4	2	1		公園みど		ることから、施策を実施で きていると評価します。	
施策为容	す。 ・周辺環境や生育環境、景観、ライフサイクルコスト、生物多様性、みどりに対する愛着の形成などに配慮して、公園・緑地の整備や樹木などの植栽を行い				公園・緑地の整備面 積	m²	(単年)	580	671	1		り推進課に	А		
	ます。 ・公園・緑地のみどりの充実を図るため、利用状況なども踏まえて、市民との協働などにより、裸地部分の樹木の植栽や草花緑化に努めます。			C担当課による検証	担当課 公園みどり推進課 (維持管理係)	箇所に した。E	ついては児	童遊園の買取り	整備を行い、1 公告を行いま に実施し、樹木	い裸地とな	施策に対する課題 管理のため、危険木の伐採等を行った場所がありますが、こういった ても、計画のに樹木の植栽や草花 る必要があります。	よる検証			
体策	2. 歴史や文化を伝える	みど	りの保	全や	育成										
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・国指定史跡桜塚古墳群、市指定史跡 原田城跡、府指定建造物の旧新田小 学校校舎などの文化財の敷地のみど	継続	公園み どり推 進課		保護樹指定件数	件	(累計)	76	74	1					文化財や街道沿いの石碑などは、ラン クとなっていることが多く、引続き景観に した植栽管理を実施する必要があります。
	りについて、みどりの量の確保を意識し ながら剪定などの適正な維持管理を推 進します。		(緑化 自然環 境係、	B E	保護樹指定本数	本	(累計)	138	139	1		D		樹指定本数については新	た、保護樹については指定件数の拡大 けた周知等を行うとともに、災害時の被 軽減するための剪定などについて研究
	・街道沿いのポケットパークなどにおいて、歴史や文化を伝えるみどりや石碑 などを保全するとともに、緑陰を形成す		維持管 理係、 整備改	ター指	保護樹林指定面積	m²	(累計)	53,840	53,800	1		公園み		で合計1本の増加となっています。これらのことから、 概ね施策を実施できてい	必要があります。
Ē	る樹木や草花による緑化に努めます。 ・地域の財産として社寺林などの樹林・ 樹木を保全するため、所有者の申し出		理係、 整備改 良係)、	標	指定文化財の敷地 面積	m²	(累計)	37,121	38,132	1		どり推		ると評価します。	
i I	などにより、保護樹や保護樹林、景観重要樹木への指定を推進します。				景観重要樹木指定	件	(累計)	0	0	_		進課に	В		
				С	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	よる 検			
			社会教育課、 都市計	担当課による検証	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	観や緑				根上りや落があります。	地や街道沿いの大木は、舗装の 葉などに配慮した維持管理の必要 また、枯死や管理が困難となり、 件数は減少傾向にあります。	証			
体策	3. 風致保安林の保全や	育成	(森林	整備	計画に基づく新	森林の	保全や	育成)						_	
	施策概要	実施状況	担当課	_	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・春日神社裏山にある風致保安林を計画的に保全するため、「豊中市森林整備計画」に基づき、森林病害虫の防除などの維持管理を推進します。	継続	公園み どり推 進課 (緑化	B モニタ	風致保安林指定面 積	ha	(累計)	2	2	_		D 公		風致味女が相定面傾など の指標は、対象となる森 林などが限られているた め、現状維持となっていま	今後も台風により被害を受けた風致保 の再整備について、専門家の意見や系 有者等と協働し、保全や災害対策など
	はこの維持官性を推進します。 ・風致保安林内にある「宮山つつじ園」などのコバノミッパッツジが多くの在をつける明るい林とするため、市民との		自然環境係、花とみ	ッ 	森林整備計画対象 森林面積	ha	(累計)	2	2	_		歯みど		が、市民との協働により、風致保安林の保全と 再生に取り組んでいること	めていて必要があります。
\ 更	協働により、剪定や枝打ちなどの適正な維持管理を推進します。		だりの 相談 所)	Tat	宮山つつじ園育成管 理面積	m²	(累計)	2,600	2,600	_		り推進		から、概ね施策を実施できていると評価します。	
3			1317	C 担	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	に よ	В		
				担当課による検証	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	けた風	致保安林の	Eした台風21号に 再生に向け、教 D撤去を行いま	林環境讓与稅	者と協働でまた、令和	の保全や災害対策など、森林所有 進めていく必要があります。 元年度から市町村に譲与される森 税の活用について、検討の必要が	る検証			
体策	4. 民有地の樹林・樹木	の保	全に対	する	支援										
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・住宅地などの貴重な樹林・樹木を保 全するため、「保護樹等助成金交付制 度」による支援を行うとともに、同制度	継続	公園み どり推 進課		保護樹指定件数	件	(累計)	76	74	Ţ				保護樹については、枯死 や管理負担を理由とした 解除があり、指定件数は	民有地の樹木を保全するために、保護 助成金制度や松くい虫防除事業助成金 付制度の活用を積極的に活用するよう
	の積極的な普及啓発に努めます。 ・森林病害虫のまん延防止を図るため、「松くい虫防除事業助成金等交付		(緑化 自然環 境係)	B =	保護樹指定本数	本	(累計)	138	139	1		D			ことで、所有者の負担の軽減を図る必要 ります。
	制度」などにより、樹林・樹木の健全な 保全と育成を推進するとともに、同制度 の積極的な普及啓発に努めます。			タ 指	松くい虫防除事業助 成件数	件	(単年)	1	0	Ţ		公園み		い虫防除事業助成件数が 減少していることから松は 健全に保たれています。こ	
				標	松くい虫防除事業助 成本数	本	(単年)	2	0	Ţ		どり推進		れらのことから、概ね施策 を実施できていると評価し ます。	
3					保護樹林指定面積	m²	(累計)	53,840	53,800	ţ	別途、生垣1件40mの指定有り	進課によ	В		
				C #I	担当課		l	令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	6 検 証			
				担当課による検証	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	いました	た。また、指	f定(6本)、指定 定されている保 を行いました。		防止の一財 持管理や災	木保存や森林病害虫被害の蔓延 となってはいるものの、樹木の維 害対策等、樹木保存に対する所有 大きいです。				

	5. エコロジカル・ネッ	トラ-	- クの	ガシアと											
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・千里緑地などの「中核地区」や「拠点 地区」において、市民との協働により、 生物多様性の保全に配慮した樹林地	継続	公園み どり推 進課		身近な生き物調査に おける調査員数		(単年)	112	78	1					エコロジカ・ルネットワークの形成に向けて みどりを育成・保全する主体(市民や事業 など)の参画を増やす必要があり、積極的
	や草地、水辺などのみどりの維持管理 を推進します。 ・「回廊地区」となる緑地や街路樹、河		(緑化 自然環 境係、		特定外来生物措置 件数	件	(単年)	26	16	Ţ				の実施などにより、自然環 境啓発イベント参加者数 は増加しています。市民	
	川・水路などのみどりを保全し、必要に応じて植栽を行うなど、みどりの連続性 の形成に努めます。また、「緩衝地区」		維持管 理係、 整備改		生物多様性に関する認知度	%	(単年)	_	_	_				への生物多様性に関する 認知度を高めるための取 組みができていることか	
	において、民有地の樹林地や住宅地の 庭木、生産緑地地区などのみどりの消 失を防ぐため、エコロジカル・ネットワー		良係、 企画調 整係)、	B T	小・中学校及びこども園ビオトープ設置	件	(単年)	22	22	_				ら、概ね施策を実施できて いると評価します。	
	クの形成に資する普及啓発に努めます。 ・春日町ヒメボタル特別緑地保全地区		環境政 策課、 基盤保	ニター	件数 小・中学校及びこど も園ビオトープ設置	m²	(単年)	3,560	3,560	_		D			
	や春日神社風致保安林、大阪大学(待 兼山)、刀根山病院、千里川をつなぐ新 たなエコロジカル・ネットワークの形成 のため、これらのみどりの維持管理を		全課、 都市計 画課、 農業員	指標	面積 公共施設等ビオトープ設置件数	件	(単年)	8	8	_		公園み			
A 施	が進行します。 ・市民との協働による市内の生き物調査を継続し、市内の自然環境の保全や		会、大阪府		公共施設等ビオトープ設置面積	m²	(単年)	4,402	4,402	_		。 どり 推			
中内容	公園・緑地の維持管理などに活用する とともに、在来種の保全を目的とする特 定外来生物の対策に努めます。				集合住宅等ビオトー	件	(単年)	11	11	_		進課に	В		
	・生物多様性の認知度を向上させるため、生物多様性を身近に学ぶ場として、公園・緑地や学校、民間施設にお				プ設置件数 集合住宅等ビオトー							よる検証			
	けるビオトーブの整備を推進するととも に、イベントの開催や広報などの多様 な手法を用いた生物多様性の保全に 関する普及啓発に努めます。				プ設置面積 自然環境啓発イベン	m [*]	(単年)	2,829	2,829	_		₽LL			
	因する日以古元に力のよう。				卜参加者数	٨	(単年)	783	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1					
				C 担	担当課 公園みどり推進課	千甲紀·	地たどの「ロ	令和元年度 中核地区」や「拠		エコロジカル	施策に対する課題 レ・ネットワークの形成にあたって				
3 44				検証						必要です。					
具体 施策	6. ヒメボタルの生息地	の保全	<u></u>												
	施策概要	実施状況	担当課	ŧ	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・「春日町ヒメボタル特別緑地保全地 区」とその周辺から形成されるヒメボタ ルの生息地を保全するため、市民との 協働により、ヒメボタルの生息環境に配	継続	公園み どり推 進課 (緑化	ニター	特別緑地保全地区 指定面積	ha	(累計)	1	1	_		D 公		ており、ヒメボタルの生息 環境に配慮した適正な維	ヒメボタルの生息地の永続的な保全に向 て、活動団体の取組みに対して、今後も3 を行っていく必要があり、また、活動を担っ いく人材を育成していくためにも、幅広い
	協関により、ことが、アルの主息、環境に能 慮した竹間伐や草刈り、生息状況調査 などの適正な維持管理を行います。 ・同地区の散策路を示す案内板や解説		自然環境係、整備改	指標	ヒメボタル発光数	匹	(単年)	6,096	7,034	1		ム園みど		考えられます。また、イベントの開催により、地域住民のヒメボタル保護意識	代に関心を持ってもらえるような普及啓発
A 施 策	サインの設置、散策路の整備、同地区 を活用したイベントの開催などにより、 自然に親しむことができる場としての利		良係)		担当課			令和元年度		am lab a ab ()	施策に対する課題	推		の向上に向けた取組みが できていることから、施策 を実施できていると評価し	
内容	日然に続しむことができる場としての利用を推進します。			C担当課による検証	公園みどり推進課(緑化自然環境係)	市民との息状況た、イベ	の協働によ を把握する シトなどを を紹介する	寺別緑地保全地 る竹間代などで行 ための調市民との 通じて、市をとり とともに、参加者	維持管理と生 いました。ま)協働による保	ボタルを守る の協働によ 全してく必要団体の高齢	への適応が困難である希少なヒメ るため、都市緑地法並びに市民と る保全活動等により、生息地を保 夏があります。また、協働する市民 化等により保全作業やヒメポタル 主数)調査が困難となっています。	進課による検証	A	を実施できていると評価します。	
具体施策	7. 島熊山緑地の保全														
	施策概要	実施状況	担当課	B モニタ	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・島熊山緑地の雑木林や竹林、緑地内の古池(千里センター池)などを良好な状態に保つため、市民との協働によ	継続	公園みどり推進課	^保 タ 指	島熊山緑地管理活動(自然観察会含む)参加者数	人	(単年)	441	383	Ţ		ひ公園み		者数が減少しましたが、森 林病害虫の防除などの適	島熊山緑地を持続的に保全するため、減 傾向にある島熊山緑地管理活動参加者数 確保と計画的な活動が必要です。
	り、森林病害虫の防除や竹間伐などに よる適正な維持管理を行います。		(緑化 自然環		担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	か ど り		正な維持管理を行っていること、また、市民の自然環境の保全に対する意識	
A	・同緑地を活用して自然観察会などを		境係、	С											

基本施策3 連続性や水面のあるみどりの保全や育成

	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	どりが豊かな街路樹の保全や育成を推 進します。また、樹木の剪定や草刈りな		公園み どり推 進課		街路樹本数(市道)	本	(累計)	22,721	22,320	Ţ				少し減少しましたが、大阪 府アドプト・ロードプログラ	老木化や樹勢の劣化などの様々な問題が生じている街路樹の保全、育成をしていくため に、不適切な剪定や植栽が発生しないよう。
	どの適正な維持管理を行い、まちなみと調和した街路樹景観の形成を推進します。		(維持 管理 係、整		街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,509	7,500	Ţ				理協定制度登録団体数が 微増となりました。また、	画的に維持管理を行う必要があります。
	・植栽整備から一定の年数が経過した 老木が増加していることから、定期的な 点検を行うとともに、枯損木の撤去や 枯れ枝を除去し、必要に応じて樹木の		備改良 係)基 盤保全 課、基	B T	街路樹本数(国道)	本	(累計)	384	382	ţ				植樹帯の美化活動や街路 樹の剪定など、街路樹の 保全に対する取組みが行 われていることから、概ね	
	田和代を呼ぶる。必要に応じて聞かり 更新を行います。 ・周辺環境や生育環境、景観、ライフサイクルコスト、生物多様性、みどりに対		盤整備課	ター	街路樹低木面積(市 道)	m [*]	(累計)	91,353	92,782	1		D 公		施策を実施できていると 評価します。	
Α	する愛着の形成などに配慮して、街路樹の整備や樹木などの植栽を行います			標	豊中市アダプトシス テム協定締結件数	件	(累計)	24	24	_		ぬとい			
	・「回廊地区」の道路などを中心に、道路幅員や周辺環境なども踏まえて、遊休地などの街路樹整備やフラワーポッ				大阪府アドプト・ロー ドプログラム協定締 結件数	件	(単年)	10	11	1		り推進課	р		
148	トなどの設置が可能な箇所における緑 化に努めます。 ・地域住民が緑道などの維持管理に参				自主管理協定制度 登録団体数	団体	(累計)	171	172	1		味による	В		
	加する「自主管理協定制度」などにより、良好な緑道空間を形成するとともに、地元の自治会や事業者などの団体				自主管理協定制度 活動箇所数(緑道)	箇所	(累計)	20	20	_		検証			
	が行う清掃活動などを支援する「豊中 市アダプトシステム」や「大阪府アドプ			_	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題				
	市アダプトシステム」や「大阪府アドプト・ロードプログラム」により、街路樹のある道路や緑道の美化活動を推進します。			C担当課による検証	公園みどり推進課 (維持管理係)	た、「自 テム」に	主管理協定	三制度」や「豊中 る団体による植	市アダプトシス 樹帯等の清掃	し、老木化ヤ じております していくため 栽などが発	D街路樹は植栽後数十年が経過 樹勢の劣化など様々な問題が生 。				

具体 施策	9. 河川のみどりの保全														
	施策概要	実施状況	担当課	B T	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・河川のみどりを保全するため、景観や 利活用、周辺環境、生き物の生息・生 育環境に配慮した適正な維持管理を推	継続	大阪府、公園みど	ター	大阪府アドプト・リ バープログラム協定 締結件数	件	(単年)	9	10	1				協定締結件数が1件増加 しました。また、河川の清	「大阪府アドブト・リバープログラム」などの 度を積極的に地域住民にPRし、引続き地域 との協働による維持管理を行うことが必要で
	進するとともに、河川に隣接する公園・ 緑地や街路樹、河川沿いのみどりの量 を確保する維持管理を推進します。		り推進 課(維 持管理	指標	河川流域面積	ha	(累計)	77	77	_				掃活動など、河川のみど りの保全に対する取組み が行われているため、概	す。
	・猪名川や旧猪名川の堤防敷や高水敷に発達したまとまりのある草地の環境を保全するため、生き物の生息・生		係、緑 化自然 環境		担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	D		ね施策を実施できている と評価します。	
A 施策内容	育環境に配慮したを対りなどの維持管理を推進します。 ・緑道や緑地帯が整備されている神崎川の高水敷において、景観や利活用に配慮した樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持管理を行います。 ・干里川や兎川などのまちなかを流れる河川のみどりを保全するため、周辺環境に配慮した維持管理を推進するとともに、河川に隣接する公園・緑地や街路樹のみどりの量の確保に努めます。		係)	C担当課によ	公園みどり推進課 (維持管理係)	剪定やた、「大	草刈りなど 阪府アドプ	園・緑地や街路の維持管理を行ト・リバープログ 可川の清掃活動	いました。ま ラム」に参加し	しながら推進 阪府アドプト	Jの保全には、河川管理者と協働 していく必要があり、そのため「大・リバープログラム」などの制度に 主民に対して広くPRを行っていくこ け。	公園みどり推進課による検	В		
	7。 ・堤内地側の法面に樹林地や草地が 多く見られる天竺川や高川において、 河川沿いのみどりの量を確保する樹木 の剪定や草刈りなどの維持管理を推進 します。 ・地元の自治会や事業者などの団体が 行う清掃活動などを支援する「大阪府 アドプト・リバープログラム」により、河 川の美化活動を推進します。			る検証								謳			
具体 施策	10. 水路のみどりの保	全や	育成												
	施策概要	実施 状況	担当課	B T	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・中央幹線景観水路や豊能南部親水 水路のみどりを保全するため、散策路 の環境や良好な景観を維持する樹木 の剪定などの適正な維持管理を行いま	継続	基盤保 全課、 公園み どり推	ニター指	親水水路樹木本数	本	(累計)	1,468	1,219	1		D 公 園 み		していますが、水路につい	水路施設の老朽化によって、良好な景観か 損なわれないよう、計画的な維持管理や更 新を引き続き行う必要があります。
A 施	व ं.		進課 (緑化 自然環	標	親水水路低木面積	m²	(累計)	11,860	11,860	_		どり推		を行っていることや、豊能 南部親水水路の現況調査 と樹木点検調査を実施し	
策 内 容			境係)	C 担	担当課 基盤保全課	水路施	設において	令和元年度 、植樹帯の清掃		良好か暑報:	施策に対する課題 を維持していくために、継続した植	進課に	В	ていることから概ね施策を 実施できていると評価しま	
				当課による検証	全面从土 环	どの維 豊能南	持管理を行	いました。 いました、現況		栽管理が必		による検証		す。	
具体 施策	11. ため池のみどりの	保全													
	施策概要	実施 状況	担当課	_	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・公園・緑地のため池について、生き物の生息・生育環境、景観に配慮した樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持	継続	資産管 理課、 公園み	標 タ 指	公共系ため池箇所 数	箇所	(累計)	38	38	_		公園みど		が、公園・緑地のため池に ついて、生き物の生息・生	公園・緑地のため池について、良好な生きの生息・生育環境、景観を推進するため、 後も地域と協働しながら適正な維持管理を
	管理を行うとともに、その他のため池に ついても、周辺環境に配慮した適正な 維持管理を推進します。		どり推 進課 (維持	C 担	担当課			令和元年度			施策に対する課題	り 推		育環境、景観に配慮した 除草や清掃など、適正な 維持管理を行っていること	続的に行うことが必要です。
内容	THE TECHNICON TO		管係、自境 化環係 (管係)	担当課による	公園みどり推進課 (維持管理係)	生息・生	E育環境、景	か池周辺につい 景観を維持する <i>†</i> を行いました。		の生息・生育	のため池について、良好な生き物 育環境、景観を推進するため、地域 がら維持管理していくことが必要で	進課による		から、概ね施策を実施できていると評価します。	

基本施策4 農地の保全

	施策概要	実施状況	担当課	B T	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・「生産緑地地区制度」などの活用により、農地の計画的な保全に努めるとともに、必要に応じて、指定面積要件の	拡充	都市計画課、大阪	ター	生産緑地地区面積	ha	(累計)	36.89	38.11	1		D 公 園		しましたが、農地面積は減少しています。「生産緑地	農地保全のため、生産緑地制度とともに、農業への関心を高めるための体験やイベントなどによる農空間の活用の検討が必要で
A 施	緩和や特定生産緑地の指定などについて検討します。 ・同地区を農地として維持していくため、「農空間保全地域制度」の活用に		府、農 業委員 会	指標	農地面積	ha	(累計)	62	60	ţ		みどり推			す。また、指定から30年を迎える生産緑地について、所有者への確認を速やかに行うための準備が必要です。
策 内 容	より、農業者だけでなく、市民の幅広い 参加による農空間の保全と活用を推進			C 担	担当課			令和元年度			施策に対する課題	進課	В	いると評価します。	
r	します。			当課による検証			定生産緑地	a加指定の受付 の説明会を開作		30年経過する必要がある。	罪を迎える生産緑地については、 るまでに特定生産緑地の指定をす るため、生産緑地所有者に対し、 の提供と指定意向確認の徹底に	による検証			
				рШ											
具体 施策	13. 市民農園の活用			ш											
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	B	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
具体施策	施策概要 ・市民農園の利用促進と充実化及び運営の効率化などを図るため、農地の貸付協定の締結を推進するとともに、市	拡充	担当課業会		指標市民農園箇所数	単位	区分 (累計)	平成30年度			指標に対する補足・留意事項	公園み	進捗評価	市民農園箇所数がわずかに減少しましたが、 栽培講習会の実施など市	これまでと同様に開設者の高齢化による相 続発生時の閉園が課題となっていることから 引続き市民農園の確保に努めるとともに、開
具施	施策概要 ・市民農園の利用促進と充実化及び運営の効率化などを図るため、農地の貸	拡充	農業委	B		. –			21		指標に対する補足・留意事項 施策に対する課題	公園	進捗評価	市民農園箇所数がわずか に減少しましたが、 栽培講習会の実施など市 民農園を活用する取組み	これまでと同様に開設者の高齢化による相続発生時の閉園が課題となっていることから

基本施策 5	公有地の緑化
--------	--------

基本	D進捗・効果検証シート 方針2 都市のみどり 極策5 公有地の緑化	や地	域の具	身近な	なみどりの創	出					進捗評価 「日モニター指標」、「C担当課によ A:すべての施策内容を実施すること B:概ね施策内容を実施することか C:施策内容を実施することができ D:施策内容のほとんどが実施でき	ことができ ドできてい ているもの	ている。 るが、実施 のもあるか	色できていない施策がある。	
体策	14. 駅前や道路におり	ナる特	色のあ	ある緑	 化						し: 旭東内谷のはこんとが美地で	- (11/41	<u>'</u>		
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・駅前広場や道路沿いなどの多くの人 が通行する場所に、花壇やフラワー	継続	公園みどり推		花壇設置面積	mi	(累計)	622	591				PT IMI	ポット設置数、花苗育苗数	駅前広場や道路沿いなどの多くの人が通 する場所では、物理的な制約があり、量6
	ポットなどを設置し、シンボルとなるみ どりの形成をめざした緑化に努めるとと もに、「まちづくり協議会」とも連携し、		進課 (緑化 自然環	В	フラワーポット設置	基	(累計)	1,615	i 1,567	1				づくり団体の取組み箇所 数が増加しています。指	みどりの増加は難しいものの、特色あるみりの創出には地域の緑化活動団体との協 が重要となるため、引続き活動に対するま
	四季折々の草花による緑化を推進します。	3	境係、 花とみ どりの	モニター	数ーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ			1,010	1,007	*		D 公		なっていますが、駅前広 場や道路沿いなどの花壇	や活動者の高齢化による担い手の減少に けた新たな人材発掘と育成が必要です。
A			相談所)	指標	組み箇所数	箇所	(累計)	10	11	1		園 み ど		やフラワーポットの維持管理を適正に行っていること から施策を実施できてい	
施策					どりの活動プロジェクト件数	件	(累計)	3	3	_		推進	_	ると評価します。	
存容					花苗育苗数	株	(単年)	69,433	59,128	1		課による	В		
				C 担	担当課花とみどりの相談所	职前点	提り送吸の	令和元年度		活動者の言	施策に対する課題 齢化など担い手の減少が懸念さ	検証			
				当課による検証	TICEPTE 9071BBKIII	の維持 よる花 地域の	管理を適正に 苗の育苗に取)花壇活動グル		市民との協働に での配布や各 を行うなど、公		、活動の支援や人材発掘、育成				
体策	15. 多様な手法による	5公共	施設の	緑化											
	施策概要	実施状況			指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・新規整備や大規模改修を行う施設において、「豊中市環境配慮指針」の適用を受ける場合には、同指針で示す場合には、同指針で示す場合には、ロースをは、エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	継続	庁内各 部局、 環境政		環境配慮協議件数	件	(単年)	48	47	ļ				公共施設屋上緑化面積が 減少しましたが、(仮称)北	公共施設の整備や大規模改修の際には 続き環境配慮指針に基づいた適切な指 行うことが必要です。また、民有地の緑付 措等となるともに、公共物部のオープンス
	化率を満たすことに努めるとともに、こ れ以外においても、可能な範囲で花壇 などの植栽空間を確保して緑化を推進 します。		策課、 公園み どり推 進課		環境配慮協議緑化 面積	mi	(単年)	26,230	13,746	ļ				ター建設工事などの整備 に伴い、適切な指導を行う	模範となるように、公共施設のオープンスペースや壁面などを利用した緑化の推進必要に応じて生物多様性や地域の植生 慮した樹種を取り入れるなど、周辺環境・
	します。 ・既存施設におけるオープンスペース や壁面などを利用するなど、施設の規 模に応じて屋上緑化や壁面緑化などを		海 (緑化 自然環 境係、	B E	公共施設屋上緑化 面積	mi	(累計)	34,513	34,642	1		D 公			観との調和を図る先導的に緑化を進めて
	推進します。 ・施設の緑化の際には、必要に応じて 生物多様性や地域の植生に配慮した		花とみどりの相談	タ 指	公立小学校みどりの カーテン実施箇所数	箇所	(単年)	33	33	_		園みど		o ocarimoory	
束	樹種を取り入れるなど、周辺環境や景観との調和を図ります。 ・民有地の緑化の模範となるように、多		所)	標	公共施設等みどりの カーテン実施箇所数		(単年)	32	. 31	1		推進			
容容	様な手法や工夫を取り入れながら、ラ イフサイクルコストを踏まえた緑化に努 めます。				公共施設等ビオトープ設置件数	件	(単年)	8	8	_		課によ	В		
					公共施設等ビオトープ設置面積	m²	(単年)	4,402	4,402	_		る 検 証			
				C	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題				
				担当課に	環境政策課	などの	整備に伴い、)南部コラボセン 公共施設の環境	ッター建設工事 竟配慮指針の	続き環境配	整備や大規模改修の際には、引 感指針に基づき適切な指導を行う 有地の模範となるような良質な植				
				よる 検 証		災害時	の活動スペー が少ないため	を設であるためか -スの確保が必 シ、テラスの先端	要で植栽可能	栽空間づく	Jへのアドバイスも必要です。				
具体 を策	16. 市民の交流拠点と	こなる	ポケッ	・トパ	ークの緑化										
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・市民との協働により、ポケットパーク の緑化を推進するとともに、ポケット パークなどを新しく整備する際には、	継続	公園み どり推 進課		フラワーポット設置 数	基	(累計)	1,615	1,567	1				備はありませんでしたが、 花壇などの植栽を適正に	市街地として既に形成されている本市にては、新たなポケットパークの整備は難しですが、みどりの効果を感じることができ
	人々の憩いや休息の場ともなる緑陰の 形成や遮蔽効果などを発揮する緑化を 推進します。		(緑化 自然環 境係、	B ==	花壇設置面積	mi	(累計)	622	591	1		D		ていること、、また、市民の 交流の場となるための維	ちなかの交流拠点としてのポケットパー? 存在しています。これらの適正な維持管 引続き行っていく必要があります。
			維持管理係、整備改	タ ー 指	花苗育苗数	株	(単年)	69,433	59,128	ļ		公園み		持管理を行っていることから、施策を実施できている と評価します。	
A 施 策			良係)	標	まちづくり団体のみ どりの活動プロジェク ト件数	件	(累計)	3	3			どり 推			
内容					まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	10	11	1		進課に	В		
				С	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	よる 検			
				担当課	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	が、緑	陰を保全する	クの整備はあり 剪定を行うなど ットパークの維持		は、みどりを	どにかかる残地が発生した場合に 活用した憩いのスペースの整備 。	ALL			
				による検		した。									
具体	17. 教育施設や保育が	施設に	おける	証 る緑化											
	施策概要	実施状況			指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・市民との協働により、民有地を含めた学校やこども園などでの環境教育教材ともなるみどりのカーテンづくりに取り、		教育委員とも		緑化樹配付件数(公 立小·中学校)	11+	(単年)	6	8	1				数は減少しましたが、市民 との協働により、公立小・	公共の教育施設や保育施設は、みどりのカーテンづくりなどの取組みが根付き、がが進んでいますが、今後は、民間の施設
	組むほか、花壇やプランター、農園の整備などによる緑化活動を推進します。		事業課、公園みど		緑化樹配付本数(公 立小·中学校)	本	(単年)	94	208	1				数及び本数が増加してい ることから、施策を実施で	ついてもこの取組みへの参加を促し、緑 推進していく必要があります。
	・民有地を含めた学校やこども園など の校庭や園庭のオープンスペースなど を活用し、樹木緑化やピオトープの整		り推進 課(緑 化自然	В	小・中学校及びこど も園ビオトープ設置 件数	件	(単年)	22	22	_				きていると評価します。	
	備を推進するとともに、芝生化した校庭や園庭を良好な状態に保つため、踏圧からの回復を図るための灌水や芝刈		環境 係)	モ ニ タ	小・中学校及びこど も園ビオトープ設置 面積	m [*]	(単年)	3,560	3,560	_		D 公			
Α	り、芝の養生などの維持管理に努めま す。			指標	公立小学校農園実 施校数	校	(単年)	39	36	1		園みどり			
施策内					公立小学校みどりの カーテン実施箇所数		(単年)	33	33	_		推進課	Α		
容					公立小・中学校・こど		(単年)	7	7	_		誅による	_ ^		
					も園芝生化件数 公立小・中学校・こど	<u> </u> ''		0.70-	, , , , ,			検証			
				С	も園芝生化面積	ım	(単年)	8,700 令和元年度	·	_	施策に対する課題				
				担当課に	型当課 公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	ゴーヤ	によるみどり	、公立小学校やのカーテンづくり	こども園等に	カーテンづく					
				による検証		いまし		14x (O.19)		検討が必要					

具体施策	施策 6 民有地の緑化 18. 環境配慮指針に基	づく	緑化												
地東	施策概要	実施状況	1		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・宅地化などの開発行為に対して、「豊中市環境配慮指針」に示している緑化	継続	環境政策課	B T	環境影響評価計画	件	(単年)	2	17470				評価	大規模な開発がなかった	引続き、宅地化などの開発行為が行われる際には、事業者と協議し、緑化配慮指針に基
	率の確保に向けた事業者などとの協議 を行い、敷地内の緑地の保全及び緑		**	ター	書提出件数	<u> </u>	.,,,,	3	3			D 公 園		面積は減少していますが そのほかの指標に大きく	づいた緑化の推進や「環境配慮奨励金交付制度」の趣旨や内容を十分に説明し、活用し
Α	化を推進します。			指標	環境配慮協議件数	件	(単年)	48	47	1		みどり		変化はなく、開発行為に 対して計画段階から敷地 内の緑地の保全及び緑化	ていただけるよう、周知する必要があります。
施策内					環境配慮協議緑化 面積	mi	(単年)	26,230	13,746	Ţ		推進	_	の推進を行っていることから、施策を実施できている と評価します。	
容				C担当課による検証	担当課 環境政策課	規模な 面積は 画段階	開発がなかっ 減少していま	ったことから環境 きす。協議物件に いて協議を進る	いものの、大配慮協議緑化 でいては、計	く、高木の植を採用するでは運動場	施策に対する課題 少ない物件では平面線化だけでな 載や壁面線化など立体的な緑化 物件が多いです。また、教育機関 などで大きく敷地を確保する必要 平面緑地を確保するのが難しく	課による検証	A		
具体施策	19. 住宅地における絹	化													
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・住宅地の沿道の緑化を推進するため、「生垣緑化助成金交付制度」の対	拡充	公園みどり推		緑化樹配付件数(住 宅地)	件	(単年)	25	25	_				のための生垣緑化助成件	引き続き、住宅地の沿道緑化を推進するため、緑化樹の配布や生垣緑化の醸成を行う
	象の拡大、基準の緩和などの制度の 拡充、一定の緑化を達成する住宅に対 する奨励金や税制優遇などを検討する		進課 (緑化 自然環		緑化樹配付本数(住	本	(単年)	2,260	2,796	1				当たりの本数が少なかっ たため、全体としての助成	とともに制度の対象の拡大や拡充の検討、 また、休止となっている記念樹配付の再開に 向けた検討を進めていく必要があります。
	とともに、積極的な制度の普及啓発に 努めます。 ・自治会やマンションの管理組合などに		境係)	В =	宝地) 生垣緑化助成件数	件	(単年)	2	5	1		D		本数及び助成延長は減少 しました。一方、緑化樹配 布の件数及び本数が増加	
	対して、大阪府の樹木を配付する事業 と連携して「緑化樹等配付制度」により 緑化用樹木を配付し、屋上緑化も含め			タ 指	(住宅地) 生垣緑化助成本数				·	'		公園み		していることから、概ね施 策を実施できていると評 価します。	
A 施	た幅広い活用を推進するとともに、積極的な制度の普及啓発に努めます。 ・出生などの記念として、市の木である			標	(住宅地)	本	(単年)	190	106	1		どり 推			
策 内 容	「キンモクセイ」や市の花である「バラ」 などの苗木を配付することについて検				生垣緑化助成延長 (住宅地)	m	(単年)	59	30	1		進課に	В		
	討します。 				記念樹の配付本数	本	(単年)	-	-			よる			
				C	担当課		l	令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	旋証			
				担当課	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		に対して、緑 行いました。	化用樹木の配作	けや生垣緑化	を推進する	全や緑化に関する支援制度の活用 ため、積極的な普及啓発が必要で				
				による検証						す。					
具体施策	20. 商業地における綺	 		рШ			-	-	-						
他東	施策概要	実施	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・商業施設に対して、「生垣緑化助成金交付制度」や「緑化樹等配付制度」によ		公園みどり推		緑化樹配付件数(商		(単年)	2	2	1			評価	商業地における緑化樹配	住宅地に比べ、緑化の取組みが少ない商業 地に対して、緑化樹配布の実施や「まちづく
	る緑化支援を行うとともに、「まちづくり協議会」とも連携するなど、市民との協働による育苗活動を通じた花苗提供な		進課 (緑化 自然環		業地) 緑化樹配付本数(商	<u> </u>	.,,,,	100						まちづくり団体の取組み箇	りにぎわい事業助成金交付制度」などの制 度との連携により、施策を推進する必要があ
	どによる草花緑化を推進します。 ・「中心市街地にぎわい事業助成金交		境係)、 都市整		業地) 生垣緑化助成件数	*	(単年)	103	57	1				おり、継続的な緑化推進 のための取組みがなされ	9a9.
	付制度」により、商店街組合などの複数施設での一体的な緑化を推進します。		備課、 大阪府		(商業地)	件	(単年)	0	0	_				ていることから、概ね施策 を実施できていると評価し ます。	
	・市街地中心部や駅前などの場所で、 緑化施設の整備や緑化促進活動を行 う事業者などに対して、大阪府がそれ			B =	生垣緑化助成本数 (商業地)	本	(単年)	0	O	_		D			
	らにかかる経費の一部を補助する「実 感できるみどりづくり事業」と連携して 緑化を推進します。			タ 指	生垣緑化助成延長 (商業地)	m	(単年)	0	0	_		公園み			
A 施 策				標	まちづくり団体のみ どりの活動プロジェク ト件数	件	(累計)	3	3	_		どり推進			
内容					まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	10	11	1		進課に	В		
					中心市街地にぎわい	件	(単年)	7	0	1	※令和元年度に「まちづくりにぎ わい事業」に名称変更	よ る 検			
					事業助成件数		(単年)	,	0			証			
					実感できるみどりづく り事業補助件数	件	(単年)	0	O	_					
				C 担	担当課 公園みどり推進課	商業協	設に対して	令和元年度 緑化支援として		みどりの保・	施策に対する課題 全や緑化に関する支援制度の活用				
				当課に・	(緑化自然環境係)		行いました。				ため、積極的な普及啓発が必要で				
				よる検証											
具体	2 1. 工業地における綺	化													
an Me	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・工場などの事業所に対して、「緑化樹 等配付制度」による緑化を推進するとと	継続	公園みどり推	B E	緑化樹配付件数(工業地)	件	(単年)	0	0	_		D	P11M		 住宅地に比べ、緑化の取組みが少ない工業 地に対して、「環境配慮奨励金交付制度」な
	もに、「環境配慮奨励金交付制度」により、準工業又は工業地域における事業 所の新設や増設、建替えなどの際の積		進課 (緑化 自然環	ター	緑化樹配付本数(工	本	(単年)	0	0	_		公園み		実施がありました。一方で、工業地における緑化 樹配付件数と本数の実績	どの制度との連携による施策の推進や、継続的な情報の発信を行う必要があります。
A 施	極的な緑化を推進します。		境係)、 産業振 興課	指標	業地) 環境配慮奨励金交							どり推		がないことから、実施できていない施策が多いと評価します。	
策内容				С	付件数	件	(単年)	1	2	1		進課に	С		
				担当課	担当課公園みどり推進課				寸制度」などの		施策に対する課題 全や緑化に関する支援制度の活用	による検			
				跡による検	(緑化自然環境係)	いました	たが、緑化樹	る制度について↑ 配付の申請はあ ☆交付については	りませんでし		ため、積極的な普及啓発が必要で	証			
具体施策	22. 道路沿線における	緑化		証											
ALC SPE	施策概要	実施状況		B E	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・大阪府が道路及びその沿線などを指定する「みどりの風促進区域」におい	継続	大阪府、環	標タール	みどりの風の道形成 事業補助件数	件	(累計)	3	0	1		公園みど	P 1 (IIII)	助件数がなかったことか	引続き、促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発
A 施 策	て、地域住民や事業者などが主体となって行う緑化活動に対して、大阪府が樹木などの緑化資材の提供や経費		境政策 課、公 園みど	指 C 担	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	どり推		ら、施策内容のほとんど が実施できていないと評 価します。	行為等や建築行為に対する環境配慮協議を 行う際には大阪府への情報提供とともに事 業者への働きかけが必要です。
容容	の一部を補助する「みどりの風の道形成事業」と連携して緑化を推進します。		り推進 課(緑 化自然 係)	当課による検	環境政策課		年度における 0件でした。	るみどりの風道形	が成事業補助	するため、E 行為に対す	おける民有地の緑化整備を促進 代間事業者が行う開発行為,建築 る環境配慮協議を行う際、大阪府 5必要があります。	進課による検証	D		
	<u> </u>			証		<u> </u>				<u> </u>					<u> </u>

他東	施策7 景観を形成するみ 23. 風致地区における			和し	た都市景観づく	(1)							÷		
	施策概要	実施	担当課	B E	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D	進捗	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・服部風致地区、大石塚風致地区、稲	状況 継続	都市計	標ター							打像に対する情化・ 自息争項	公園み	評価	風致地区内における建築	引き続き、風致に富んだ良好な都市景観を
A 施 策	荷山風致地区、東豊中風致地区において、自然などのみどりと調和した都市景観の形成に努めます。		画課、 公園み どり推 進課	指 C	風致地区決定面積 担 当課	ha	(累計)	194.4	194.4	_	施策に対する課題	どり推進			継承していくために、地区内の定期的な現場調査等を行い、違反行為等がないか確認を していく必要があります。
容容			(緑化 自然環 境係)	担当課に	都市計画課	木竹の	伐採等の行.		そ例の基準をも	ために、許可	だ良好な都市景観を継承していく J基準に基づく適正な規制を継続	選課によ	В	ることから、概ね施策を実施できていると評価します。	
				による検		とに番	査を行い、許	可を行いました。	•	容との適合	可に基づく行為終了後は、許可内 を確認するため、定期的な現場パ う必要があります。	る検証			
具体施策	24. 良好なみどりの景	観を	形成す	る制	度を活用した地	地域づ	5< 1)								
	施策概要 ・みどり豊かなまちなみの形成を推進	実施 状況 継続	担当課公園み		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点 地区の住環境における良好なみどりの景観
	するため、緑地協定の制度による緑地 の保全や緑化を推進します。 ・みどりによる良好な景観の形成を推	中企中沙	どり推 進課 (緑化		地区計画決定件数	件	(累計)	22	23	1				市景観形成推進地区指定 件数が増加しており、各協	を維持するため、引き続き地区計画や緑地協定等の状況把握を行うとともに、生垣緑化助成や緑化樹配付等の緑化支援制度の活
	進するため、都市景観形成推進地区や 景観形成協定、地区計画、建築協定な ど、地区の住環境や緑化に関するルー		自然環境係)、都市計	B =	緑地協定締結件数	件	(単年)	2	2	_		D 公 園		維持できていることから、	用について、開発行為や地区計画に係る担 当部局等と連携し周知や啓発を進めることが
A 施	ルづくりの取組みを支援します。		画課、 建築審 査課	タ 指標	景観形成協定締結 件数	件	(累計)	2	2	_		みどり		価します。	
策内容				भगर	建築協定締結件数	件	(累計)	10	10	-		推進課に	Α		
					都市景観形成推進 地区指定件数	件	(累計)	4	5	1		よ る 検			
				C担当課に	担当課 公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		住環境の維持 行いました。			開発行為や 連携が必要	施策に対する課題 地区計画に係る担当部局等とのです。	証			
84				よる				_	_						
施策	25. 花とみどりの名所												7# 40±		
	施策概要 ・既存のバラ園、花しょうぶ園の魅力を	実施 状況 拡充	担当課公園み	B =	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価		今後の留意すべき点・改善点 パラ園、花しょうぶ園においては、既存の魅
	高めるため、老朽化した施設の更新を行うとともに、適正な育成管理を行います。		どり推 進課 (緑化	タ 指標	バラ園育成管理本数 		(累計)	2,126	2,134	1		D 公 園		来種の混入と問題はあり ますが、バラ園、花しょう	カを保つため、定期的な更新作業が必要となる。 花とみどりの名所マップの作成にあたり、他課が発行する既存の冊子との整合性を計りながら、公園などの公共施設だけでは
A 施	・市内の花とみどりの魅力を伝えるため、市民との協働により、花や並木、自然が豊かなみどりなどの名所をまとめた「花とみどりの名所マップ」の作成に		自境花ど相所備係 環、みの談整良	標	理面積	mî	(累計)	820	820	_		みどり			なく、民有地などの花とみどりも含めた名所
策 内 容	ついて検討し、それらの名所の適正な 維持管理を推進します。			C担当課に	担当課 公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	「花とみ行いま		マップ」の作成に		啓発冊子と 点での作成	施策に対する課題 ②名所マップの作成にあたり、他の の整合性を計りながら、独自の視が必要となる。また、市民との協働 な維持管理が必要です。	推進課による	В	行っていることから概ね施 策を実施できていると評 価します。	
				による検証	花とみどりの相談所	撤去を					いて、株の老朽化が増加している 期的な更新作業が必要です。	検証			
具体施策	26. みどりを見渡す眺	望点	づくり												
	施策概要	実施状況	担当課	B +	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公 園	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施	緑地や島熊山緑地などの眺望点において、周辺樹木の剪定や施設改修など	継続	公園みどり推進課	標 標 タ 指	眺望点設置箇所数	箇所	(累計)	5	5	_		みどり		指標の増減はありませんが、良好な眺望を確保するために、森林病害出り	引続き各眺望景観を保全できるよう、地域と 眺望景観の価値を共有しつつ、眺望の特徴 を活かした適正な維持管理を行うことが必要
策内容	の眺望を確保する適正な維持管理を行います。		(<u>維持</u> 管理 <u>係</u> 、緑 化自然	C担当課に	担当課公園みどり推進課			令和元年度 て、みどり豊かな	眺望の確保の		施策に対する課題 を保全できるよう、地域と眺望景	推進課に	В	防除などの適正な維持管 理を行っていることから、 概ね施策を実施できてい ると評価します。	C9 .
			環境 係)	^皿 による検	(維持管理係)			により、園路の 推持管理を行い			共有しつつ、眺望の特徴を活かし 寺管理が必要です。	よる検証			
具体 施策	27. 草花による美しい	まち	なみつ	がくり											
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・多くの人が集まる駅前や道路沿い、 公園・緑地、その他の公共施設などの 魅力を高めるため、それらの場所にお	継続	公園み どり推 進課		花いっぱい運動団体 数(花いっぱい運動 ネットワーク)	団体	(累計)	37	31	ļ				指標の数値だけを見ると、 全体的に減少しています が、大幅な減少ではなく、	多くの人が集まる場所における特色あるみど りの創出には、地域の緑化活動団体との協 働が無くてはならないものとなるため、引続き
	いて、市民参加による「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」や「花いっぱいプロジェクト」や「花いっぱい運動」のほか、市民との協働による地		(花とみどりの相談		花いっぱい運動写真 展応募数	点	(単年)	168	266	1				現状維持に近い状態となっています。草花緑化の推進などの取組みを継	活動に対する支援や新たな人材発掘及び育成が必要です。
	域での草花緑化の活動を推進します。 ・農閑期の農地の景観を形成するため、農家に対して草花の種子を配布し、農地を活用した草花緑化を推進し		所、緑 化自然 環境 係)	B ==	花苗育苗数	株	(単年)	69,433	59,128	ļ		D 公 園		続的に進めていると判断 できることから、概ね施策 を実施できていると評価し ます。	
Α	ます。			タ - 指	花壇設置面積	m³	(累計)	622	591	ļ		園みどり			
施				標	フラワーポット設置 数	基	(累計)	1,615	1,567	ļ		推進課	В		
策						袋·球	(単年)			1		による	٥		
策内容					種子·球根配布数	2K - 14	(+-/	7,762	7,548	*					
策					種子・球根配布数	kg	(単年)	7,762	7,548			検証			
策				C 担当	レンゲ種子配布量	kg	(単年)	117	の実施内容	ļ	施策に対する課題	証			
策					レンゲ種子配布量	kg 緑化活動を行うと	(単年) 動団体とのサグループへのこともに、10月	117 令和元年度 協働により、農家 の育苗材料の提 に活動の輪を加	の実施内容 や各地域の花 供などの支援 にげる情報発信	→ 活動を推進 ・ 活動を発発 ・ 活動を発発 ・ 活動を ・ 活動を ・ 活動を ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	検証			
策	28. 屋上や壁面を活用	した	みどり	担当課による	レンゲ種子配布量 担当課 花とみどりの相談所	kg 緑化活動と の場と	(単年) 動団体とのサグループへのこともに、10月	117 令和元年度 協働により、農家 の育苗材料の提 に活動の輪を加	の実施内容 や各地域の花 供などの支援 にげる情報発信	活動を推発へ高 活動者のから 活動ることから	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	模証			
第内容 	28. 屋上や壁面を活用 ^{施策概要}	した実状況	みどり担当課	担当課による	レンゲ種子配布量 担当課 花とみどりの相談所	kg 緑化活動と の場と	(単年) 動団体とのサグループへのこともに、10月	117 令和元年度 協働により、農家 の育苗材料の提 に活動の輪を加	の実施内容 や各地域の花 供などの支援 にげる情報発信	活動を推発へ高 活動者のから 活動ることから	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	模証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
美内容	施策概要 ・市民との協働により、小学校をはじめ、市役所などの公共施設や民間施設などに対して、育苗した苗の提供や		担当課 公園み どり推 進課	担当課による う	レンゲ種子配布量 担当課 花とみどりの相談所	kg 緑化活動といた。	(単年) 動団体とのサグループへなとともに、10月して「花いっぱ	令和元年度 品働により、農家 の育苗材料の提 に活動の輪を広 ばい運動写真展	の実施内容 や各地域の花 供などの支援 はげる情報発信 を開催しまし	□ 活動を推進 音及啓発へ 高記者を必要です ・ おると要です	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	証 D	進持評価	指標は全体的に減少しま したが、市民との協働によ り、公立小学校や公共施	引続き市民や事業者と協働し、屋上や壁面 を活用したみどりづくりを推進していくととも に、公共施設や民間施設が、自主的に屋上
具施策	施策概要 ・市民との協働により、小学校をはじめ、市役所などの公共施設や民間施設などに対して、育苗した苗の提供や植付け指導を行うなど、みどりのカーテンづくりを推進するとともに、取組みを拡大するため、積極的な壁面緑化の普拡大するため、積極的な壁面緑化の普	実施状況	担当課 公 が は は 緑 然 然 係 係 係 係 り り り り り り り り り り り り り り	担当課による	レンゲ種子配布量 担当課 花とみどりの相談所	線化活動といた。	(単年) 動団体とのも グループへ とともに、10月 して「花いった	令和元年度 協働により、農家 の育苗材料の提 に活動の輪を所 ばい運動写真展 平成30年度	の実施内容 や各地域の花 供などの支援 はげる情報発信 を開催しまし	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	証 D公園みど	進持評価	指標は全体的に減少しましたが、市民との協働により、公立小学校や公共施設等の屋上や壁面を利用したゴーヤによるみどりカーテンづくりの取組みが	引続き市民や事業者と協働し、屋上や壁面 を活用したみどりづくりを推進していくととも
策内容 具施 本策	施策概要 ・市民との協働により、小学校をはじめ、市役所などの公共施設や民間施設などに対して、育苗した苗の提供や植付け指導を行うなど、みどりのカーテンづくりを推進するとともに、取組みを拡大するため、積極的な壁面緑化の普及啓発に努めます。・「豊中市環境配慮指針」の対象となる施設については、施設の規模に応じ	実施状況	担当課 公園み どり推 進課 (緑然環	技証 が Bモニター指標	レンゲ種子配布量 担当課 花とみどりの相談所 指標 環境配慮協議件数 環境配慮協議線化 面積 公立小学校みどりの カーテン実施箇所数	kg 線型をのた。 単位 件 ㎡ 箇所	(単年) 動団体との1 グループへ とともに、10月 して「花いった	令和元年度 協働により、農家 の育苗材料の結を にご動助写真展 ポル運動写真展 平成30年度	の実施内容 や各地域の花 供などの支援 はける情報発信 を開催しまし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	証 D公園みどり推進	評価_	指標は全体的に減少しましたが、市民との協働により、公立小学校や公共施設等の屋上や壁面を利用したゴーヤによるみどりの	引続き市民や事業者と協働し、屋上や壁面を活用したみどりづくりを推進していくとも に、公共施設や民間施設が、自主的に屋上 緑化や壁面緑化に取り組んでもらえるような
第内容 具施 体策	施策概要 ・市民との協働により、小学校をはじめ、市役所などの公共施設や民間施設などに対して、育苗した苗の提供や植付け指導を行うなど、みどりのカーランづくりを推進するとともに、取組みを拡大するため、積極的な壁面線化の普及啓発に努めます。・「豊中市環境配慮指針」の対象となる	実施状況	担当課 公が は は は は は は は は く り は 環 り は 、 の り 、 の り の り の り の り の り の り の り の り	技証 が Bモニター指標	レンゲ種子配布量 担当課 花とみどりの相談所 指標 環境配慮協議件数 環境配慮協議縁化 面積 公立小学校みどりの	kg 線型をのた。 単位 件 ㎡ 箇所	(単年) 動団体とのも グループへの ともに、10月 して「花いった (単年)	令和元年度 部働により、農家 の育苗材料の結をに に活動の輪を広 ばい運動写真展 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の実施内容 や各地域の花供などの支援 はげる情報発信 を開催しまし 令和元年度 47 13,746	□ 活動を推進へ高い。 活動を整発へ高い。 はないでする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	証 D公園みどり推	進持評価	指標は全体的に減少しましたが、市民との協働により、公立小学校や公共施設等の屋上や壁面を利用したゴーヤによるみどりのカーテンづくりの取組みが推進されていることから、概和施策を実施できてい	引続き市民や事業者と協働し、屋上や壁面を活用したみどりづくりを推進していくとも に、公共施設や民間施設が、自主的に屋上 緑化や壁面緑化に取り組んでもらえるような
第内容 具施 体策	施策概要 ・市民との協働により、小学校をはじめ、市役所などの公共施設や民間施設などに対して、育苗した苗の提供や植付打指導を行うなど、みどりのカーテンづくりを推進するとともに、取組みを拡大するため、積極的な壁面繰化の普及啓発に努めます。・「豊中市環境配慮指針」の対象となる施設については、施設の規模に応じて、緑化協議による屋上線化や壁面線	実施状況	担当課 公が は は は は は は は は く り は 環 り は 、 の り 、 の り の り の り の り の り の り の り の り	技証 が Bモニター指標	レンゲ種子配布量 担当課 花とみどりの相談所 指標 環境配慮協議件数 環境配慮協議線化 面積 公立小学校みどりの カーテン実施箇所数 公共施設等みどりの	kg 保証をのた。 単位 件 ㎡ 箇 所	(単年) 動団体とのも グループへの ともに、10月 とて「花いっ」 区分 (単年) (単年) (単年)	令和元年度 高働により、農寮 の育苗材料の提 に活動の輪を広 ばい運動写真展 平成30年度 48 26,230	の実施内容 や各地域の花供などの支援 はげる情報発信 を開催しまし 令和元年度 47 13,746 33	□ 「活動を推進へ高からを発発のあらられが必要です」 「増減 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	していくために、更なる情報発信や の取組が必要です。 齢化など担い手の減少が懸念さ 、活動の支援や人材発掘、育成	証 D公園みどり推進課によ	評価_	指標は全体的に減少しましたが、市民との協働により、公立小学校や公共施設等の屋上や壁面を利用したゴーヤによるみどりのカーテンづくりの取組みが推進されていることから、概和施策を実施できてい	引続き市民や事業者と協働し、屋上や壁面を活用したみどりづくりを推進していくとも に、公共施設や民間施設が、自主的に屋上 緑化や壁面緑化に取り組んでもらえるような

進捗評価
「Bモニター指標」、「C担当課による検証」及び地域別の取組み状況を踏まえて、具体施策全体で進捗状況を評価。
A: すべての施策内容を実施することができている。
B: 概ね施策内容を実施することができているが、実施できていない施策がある。
C: 施策内容を実施することができているものもあるが、実施できていない施策も多い。
D: 施策内容のほとんどが実施できていない。

基本方針3 みどりを活かした安全で快適なくらしの実現 基本施策8 魅力的で利便性の高い公園づくり

李平/	他東8 魅刀的で利便性の	同り、	公图 -	<u>ノ 、り</u>							D:施策内容のほとんどが実施でき	ていない	١.		
具体 施策	29. 長期未整備の都市	計画	公園・	緑地	の見直し 										
	施策概要 ・長期未整備となっている都市計画公園・緑地については、都市計画決定後の社会情勢の変化を踏まえて、必要性	実施 状況 新規	担当課 公園み どり推 進課	ター	指標都市計画公園·緑地	単位 m [*]	(累計)	平成30年度	令和元年度 366,900	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公	進捗 評価	実施内容の評価 都市計画公園・緑地未整 備面積は、昨年度から減 少していませんが、長期	今後の留意すべき点・改善点 長期未整備となっている都市計画公園・緑地 について、用地を取得するにあたって、長期 に時間を要することや利用者がどのような公
Δ	や実現性など、様々な観点から整備の あり方について検討します。		(企画調整係)	指標	未整備面積		(901)					園みど		未整備となっている都市 公園について、災害対策	園を求めているか考慮しながら、整備の必要性や実現性について検討していく必要があります。
施策				С	担当課公園みどり推進課	昨年度(-2 去結 去	令和元年度 、長期未整備と		上 期 + 救借	施策に対する課題 となっている都市計画公園・緑地	り推		要性を検討していることか ら、概ね施策を実施できて	
内容				担当課による検証	(企画調整係)	計画公	園・緑地を対 おいて、防災	、及が不正明にか 対象に、都市計覧 災などの機能が 情の必要性につり	国公園以外の 代替可能かを	の未整備解 どがあり、時 同様に近隣 ている公園(となっている時間に自当の無いないでは、用地取得の課題ないでは、用地取得の課題が間を要します。今後もこれまでとの公園・緑地などで、未整備となっの機能が補完できるかを勘案しなり必要性を検討していく必要性が	進課による検証	В	いると評価します。	
具体施策	30. 安全で特色のある	公園	づくり	J											
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・「豊中市公園施設長寿命化計画」や 「都市公園移動等円滑化基準」などに 基づき、老朽化が進んだ公園・緑地の	拡充	公園み どり推 進課	B T	公園施設再整備箇 所数	箇所	(累計)	7	12	1				段差解消、ユニバーサル デザインタイプの水飲み へ置換する等のバリアフ	利用者のニーズや少子高齢化、健康志向などの社会背景などを踏まえた公園づくりを推進していくには、公園の再整備や施設改修な
	施設の更新やバリアフリー化などを推進します。 ・公園・緑地の活性化を図るため、公園		(整備 改良 係、企	ター	公園・緑地の整備箇 所数	箇所	(単年)	4	2	Ţ		D 公		リー化や、老朽化が進ん だ公園・緑地の施設更新 を行っていることから、概	どの際に、地域と話し合いの場を設けていく ことが必要です。
	スペースの有効活用に努めるととも に、再整備や施設の改修の際は、地域 住民の意見を取り入れるなど、利用者		画調整 係、維 持管理	指標	公園・緑地の整備面 積	m	(単年)	580	671	1		ム園みど		ね施策を実施できている と評価します。	
A 施 策	のニーズや少子高齢化、健康志向など の社会背景などを踏まえた公園づくり を推進します。		係)、ス ポーツ 振興課		市民参画型公園整備箇所数	箇所	(単年)	0	0	_		推進			
容容	・本市の魅力である高校野球発祥の地であることを広く周知するため、高校野球発祥の地記念公園の活用に努めま				担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	課によ	Α		
	す。 ・体力向上や健康増進などを目的に、 運動施設や植栽のみどりを充実させる 神崎川公園の再整備を行うとともに、 老朽化に伴う二ノ切温水ブールの再整 備を行います。			C担当課による検証	公園みどり推進課 (整備改良係)	千里園i ニバー・ 等のバリ 丁目第2	西公園外21 サルデザイ: リアフリー化	公園においては、 ンタイプの水飲 <i>る</i> とを行いました。 ・園では、コンク!	、段差解消、ユ みへ置換する また、玉井町2	民の意見を	備や施設の改修の際に、地域住取り入れた公園の整備 <mark>内容</mark> とする成との話し合いの場を設けていくこす。	る検証			
具体施策	31. 開発許可制度及び	土地	区画塾	を理事:	業による身近な	公園	づくり								
	施策概要	実施状況	担当課	Ŧ	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・「開発許可制度」による公園について は、その公園づくりのあり方について検 討するとともに、同制度や土地区画整 理事業による公園づくりについては、事		公園み どり推 進課 (整備	ニタード	開発行為における公 園・広場等の設置協 議件数	件	(単年)	2	0	1		公園み		広場等の設置協議件数は	開発行為等によるみどりの減少を抑制する ため、事業者などに対して、「環境配慮奨励 金交付制度」などの活用を積極的に促すな し、働きないだが必要です。
A 施	業者などとの協議により、まちなかの オープンスペースや憩いの場となる身 近な空間づくりを推進します。		改良 係、緑	指標	自然環境の保全と回 復に関する協定件数	件	(累計)	15	15	_		どり推		る条例に基づき、適正な 公園・緑地の確保が図れ	と、例とがけが必安です。
策 内 容	・大阪府の「自然環境の保全と回復に 関する協定」により設置される公園・緑		化自然 環境 係、企	C 担	担当課	# + + .	- III - III - A	令和元年度		朋 & 	施策に対する課題	進課に	В	ていること、また、協定件 数が維持されていることから、概ね施策を実施できて	
	地については、事業者などとの協議に より、まちなかで良好なみどりを感じる ことができる自然環境と調和した空間 づくりを推進します。		画調整係)	当課による検証	公園みどり推進課 (整備改良係)	開発行:	為区域の公)について訴		、場の設置(帰 :。平成30年度	要因となって	積が増加しており、みどりの減少 にいます。緑化の効果を得るため、 こ対して、積極的な働きかけが必	こよる検証		いると評価します。	
具体 施策	32. 地域住民との連携	によ	る愛着	が持	てる公園づくり)									
	施策概要	実施状況	担当課	В	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・地域住民が公園・緑地などの維持管理に参加する「自主管理協定制度」、 地元の自治会や事業者などの団体が 行う清掃活動などを支援する「豊中市	継続	公園み どり推 進課 (維持	ロモニタ	自主管理協定制度 登録団体数	団体	(累計)	171	172	1				箇所数が増加し、地域住 民と協働したイベントを行	引続き地域住民に愛着を持っていただくため に、地域と連携した公園づくりやイベントの開 催をしていくことが必要です。また、「豊中市 アダプトシステム」などの参加団体の拡大の
	アダプトシステム」などにより、地域に 根ざした良好な公園づくりを推進すると ともに、参加団体の広がりをめざして積		管理係)	指標	自主管理協定制度 活動箇所数(公園)	箇所	(累計)	195	200	1		D 公園 み			ため、広い世代への周知が必要です。
A 施	極的な制度の普及啓発に努めます。 ・公園・緑地を活用した地域のイベントなどの交流機会の充実を促すことで、				豊中市アダプトシステム協定締結件数	件	(累計)	24	24	_		みどり推		す。	
策 内 容	活気のある公園づくりを推進します。				担当課			令和元年度			施策に対する課題	進課	Α		
				C担当課による検証	公園みどり推進課 (維持管理係)	所数とも 民とのり 知っても	に増加しま 協働により、 らうための		港周辺地域住 ・多くの市民に い緑地フェス	ど、地元のほしてきました	「プトシステム」により、地域清掃な 自治会や事業者などの活動を支援 が、活動者の高齢化などによる担 などの課題について検討が必要で	による検証	_		

具体施策	施策9 防災・減災に資す 33. 公園・緑地におけ				ik.	۰						۰			
肥束	施策概要	実施状況	担当課	В	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・広域避難場所や応援受入拠点、後方	継続	公園み	モ ニ タ	181m	十四	En	T NA 00 4 12	13年126年12	* E 17%	1月球にハナッ間に、日本子外	D	評価	公園・緑地の防災施設設	消防局や危機管理部局及び地域住民と連携
	支援活動拠点となっている公園・緑地 などにおいては、敷地内の安全域を確 保するため、沿道のみどりによる延焼		どり推 進課 (維持	指標	公園・緑地の防災施 設設置箇所数	箇所	(累計)	157	174	1		公園み		ことから、施策を実施できていると評価します。	を図り、災害時に十分な機能を果たせるよう 施設の適正な維持管理を行うことが必要で す。
A 施	遮断帯の形成を推進します。 ・公園・緑地における防災機能を維持 するため、災害発生時の避難場所や復		管理 係、整 備改良		担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	どり 推		※設置個所数は調査実施 により正確な箇所数が把 握されたことによる変動で	
策 内 容	旧活動の拠点などとして利用できる オープンスペースの確保に努めるとと もに、耐震性貯水槽(防火水槽)や雨		係)	C 担 当	公園みどり推進課 (整備改良係)	トイレ、	備蓄倉庫、	ソーラー照明等	、防災機能を	する必要が	公園の増設、機能の拡充を検討 あります。また、防災施設を適正に	進課に	Α	す。	
	水貯留施設、マンホールトイレなどの 防災施設の適正な維持管理を行いま す。			当課による検証		有したがした。	西設を整備 う	するため、設計	委託を発注しま		ていくため、計画的な点検及び更 ていく必要があります。	による検証			
具体施策	34. 庄内・豊南町地区	にお	ける防	災機	能の強化										
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・木造住宅などが密集する地域の「庄 内・豊南町地区」における防災対策として、「第3次庄内地域住環境整備計画」	拡充	都市整 備課、 基盤整	B T	街路樹本数(市道)	本	(累計)	22,721	22,320	ļ				街路樹の本数がそれぞれ 減少していますが、緑道 の整備に向けた調整を	「豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画」 に基づき、緑道を整備するとともに、都市計 画道路の街路樹の整備を推進する必要があ
	に基づき、緑道を整備するとともに、都 市計画道路の街路樹の整備を推進し ます。		備課	ター	街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,509	7,500	ļ		D		行った結果、街路樹低木 面積及び緑道・街路樹整 備件数が増加しました。こ	ることから、引き続き権利者との調整やバリアフリー化に向けた歩道の幅員確保などについても進めていく必要があります。
				指標	街路樹本数(国道)	本	(累計)	384	382	ļ		公園み		とから概ね施策を実施で きていると評価します。	
A 施					街路樹低木面積(市道)	mi	(累計)	91,353	92,782	1		どり推			
策 内 容					緑道·街路樹整備件 数	件	(累計)	3	4	1		進課に	В		
				С	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	よる検			
				担当課に	都市整備課	成30年	度に「第3次	7庄内地域住環	境整備計画」か		備については、権利関係が輻輳し が多く、調整に時間を要します。	証			
				ょ	基盤整備課	者との記	周整を行い:			送吹捧 连会。	>パリアフリ─の観点から歩道幅員確				
				る 検 証	基盤定训沫		しました。	1121日地内/1、	-のいて国 昭倒		ており、植栽整備が難しい場合があ				
具体施策	35. 地域防災計画に基	づく	市街地	の緑	IL .										
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・延焼防止効果の期待できる広幅員の 道路について、街路樹や緑道整備など		全課、		街路樹本数(市道)	本	(累計)	22,721	22,320	Ţ				減少していますが、延焼	引き続き緑化による防災機能の確保と合わせて、幅員確保や倒木の恐れのある街路樹
	の緑化による防災機能の強化を図ります。 ・「生垣緑化助成金交付制度」による緑		公園み どり推 進課		街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,509	7,500	1				路樹の整備を実施しました。また、生垣緑化におい	の撤去など適正なみどりの育成と保全の必 要があります。
	化を推進するなど、建築物の防火に資する緑化を推進するとともに、延焼防止効果の高い樹種や植栽方法の助言		(維持 管理 係、整	B T	街路樹本数(国道)	本	(累計)	384	382	1		D 公		ては助成本数は減少と なったものの助成件数が 増加していることから、概	
	など、防災効果を高めるみどりの普及 啓発に努めます。		備改良 係、緑 化自然	ター	街路樹低木面積(市	m	(累計)	91,353		1		園みどい		ね施策を実施できている と評価します。	
A 施			環境 係)	指標	道) 緑道·街路樹整備件	" 件		91,000	92,762			り推進			
策内容					数	件	(累計)	3	4	Î		課によ	В		
#					生垣緑化助成件数	件	(単年)	2	5	1		る 検 証			
					生垣緑化助成本数	本	(単年)	190	106	ļ					
				C担当課に	基盤整備課	穂積菰:	江線(大黒町	令和元年度 町2丁目地内)に		道路構造令	施策に対する課題 やバリアフリーの観点から歩道幅				
				証牒によ		を整備し	しました。			員確保が求 場合があり	められており、植栽整備が難しい ます。				
					基盤保全課		安全上の著				の観点から歩道幅員確保が求め 植栽スペースの確保が難しい箇 け。				
具体 施策	36. 公共施設一体型公	園づ	< 0												
	施策概要	実施 状況	担当課	B =	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・「豊中市公共施設等総合管理計画」 に基づく公共施設の再配置などが行われる際に、都市公園が隣接する、ある	新規	公園み どり推 進課	ター	公共施設一体型公	箇所	(累計)	0	0	_		D 公		備や都市公園に隣接する	危機管理部局や他の公共施設管理者と連携 し、都市公園と都市公園に隣接する公共施 設の一体的活用方法について基準を検討す
Α	いは都市公園の整備が計画されている場合には、災害時に施設の相互利用が可能な導線の確保や災害時の施		(整備改良係)	標	園整備箇所数							園みどり			る必要があります。
施策内	設間の連携を図るなど、他の公共施設と一体となった公園づくりを検討します。		PP/	C #B	担当課 公園みどり推進課				市公園に隣接		施策に対する課題 都市公園に隣接する公共施設が	推進			
容容	7 0			担当課に	(整備改良係)			備はありません			用されるよう基準を検討する必要	課によ	D		
				課による検								検証			
				証											

基本施策10 みどりの保全や緑化活動に対する支援

具体施策	施策10 みどりの保全や約 37. みどりに関する記	E動を	広げる		の場の活用											
施策	施策概要	実施	+D 3/4 =M	B	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
	・みどりに関する活動を行う市民や団	状況 継続	公園み	標 タ-	豊中みどりの交流会	. –					扫標に対9 0 間止・自息争項	D 公 園	評価	新型コロナウイルスの影	みどりの保全や緑化活動を推進するために	
Α	体などが自由に参加し、情報交換や仲間づくりなどを行う交流の場である「豊中みどりの交流会」を引き続き活用し、		どり推 進課 (緑化	指	参加者数	^	(単年)	810		T		みどり		響により、3月以降の活動 が中止となりましたが、み どりの交流会参加者数が	は、これまで減少傾向にあったみどりの交流 会の参加者数を増加させるため、今回の参 加者数増加の要因等を分析し、それを参考	
施策内	みどりの保全や緑化活動を推進します。		自然環 境係)	D 担 当	担当課 公園みどり推進課	市民とば	a働によるa	令和元年度 みどりの交流会選		活動に参加	施策に対する課題 する市民が固定化され、また、高	推進	٨	増加しており、市民との協働による、みどりのカーテンづくりなど各種プロジェ	に活動に対する支援や新たな人材発掘など について検討が必要です。	
容				当課に	(緑化自然環境係)	ム、みど	りのつどい	動のほか、みど 、等を実施しまし より一部活動・イ	た。(新型コロ		でいることなどから、参加者の活 必要があります。	課 に よ	Α	クトを実行できていること から、概ね施策を実施で		
				よる検			7 (7),751 = 0	1 HP/LL 20 1	21 (122)			よ る 検 証		きていると評価します。		
目体				証		<u> </u>	_									
施策	38. 花とみどりの相談		活用										144.111			
	施策概要 ・緑化活動などの拠点である「花とみど	実施 状況 継続	担当課公園み	B t	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D	進捗 評価	実施内容の評価 例年通り、緑化に関する	今後の留意すべき点・改善点 今後は、花とみどりの相談件数及び講習会の	
	りの相談所」において、市民との協働などにより、花とみどりの育成管理などに関する相談への対応や講習会の開催		どり推 進課 (花と	ニターに	花とみどりの相談件 数	件	(単年)	627	574	1		公園み		普及啓発として花とみどり の講習会等を実施してい	参加者数の増加を目指し、市民との協働に おける活動のPRを強化する必要がありま す。併せて、講習会の内容の見直しなど、イ	
A 施	をはじめ、緑化を支援する制度、市民 活動や多様な緑化手法などの情報を		みどり の相談	指標	花とみどりの講習会 参加者数	٨	(単年)	1,226	894	. ↓		ど り 推		件数と花とみどりの講習 会参加者数が減少してい	す。所でて、時間気の内容の光温の場と、 とみどりの相談所のさらなる活性に向けた 討が必要です。	
策 内 容	発信し、緑化に関する普及啓発に努め ます。		所)	C 担	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	進課に	С	ます。このことから、施策 の一部しか実施できてい ないと評価します。		
				当課に	花とみどりの相談所	に関する	る相談を行う)高揚を図るため うとともに、植栽怠)の講習会を開催	知識の普及を	講習会の参	減少傾向にあります。 加者はリピーターが多く、より広く る必要があります。	よる				
				よる検証								検証				
具体	39. 緑化リーダーの箸	t ett		証												
施策		実施	40.14		The same	шч	57.0	W-T-CO-	Ain-t-	155.00			進捗	***	A% A 50 = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	
	施策概要 ・参加者のレベルに合わせて複数回に	状況	担当課公園み		指標 緑化リーダー養成講	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		評価		今後の留意すべき点・改善点 地域での緑化活動を進めていくうえで、みと	
	わたる講座を開催する「緑化リーダー 養成講座」により、地域での緑化活動 の先導役となる緑化リーダーを養成し		どり推 進課 (花と みどり の相談	B t	座受講者数	^	(単年)	49	42	ļ				講座を開催しましたが、緑 化リーダー養成に係る指	リに関する活動の志や技術を継承していくめ、緑化活動の先導者となる緑化リーダー 発掘や育成が必要です。またこれと併せて	
	ます。 ・受講者の増加を図るため、市民ニーズを反映した魅力ある内容にするな			みどり	ター	緑化リーダー養成講座修了者数	人	(単年)	40	39	1		D 公 園			講座を市民ニーズに合わせた魅力ある内? にするなど、積極的な普及啓発を行ってい ことが必要です。
A 施	ど、講座内容や過程を見直し、積極的 な普及啓発に努めます。			指標	豊中緑化リーダー会 会員数	人	(累計)	121	119	. ↓		みどり		ね、施策を実施できている と評価します。		
形 策 内 容					豊中緑化リーダー会活動面積	m³	(累計)	155	145	i ↓		推進課	В			
*				С	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	課による				
				担当課	花とみどりの相談所	導者とな	る人材の多	発掘と育成を目的	的とした緑化	近年、受講れていることか	検証					
				による		リーダー を開催し		、初級、中級、上	.級の3コース	しなどの検言	すが必要です。					
				検証												
具体 施策	40. 生ごみ・剪定枝の)堆肥	化及び	堆肥	の活用											
	施策概要	実施状況	担当課	B T	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
	・「緑と食品のリサイクルプラザ」において、生ごみや剪定枝のリサイクルを目的として、学校給食から排出される調	継続	公園み どり推 進課		ニター	とよっぴ一配布・頒 布量	トン	(単年)	106	89	1		D 公 園		堆肥「とよっぴー」と緑化 用バークをイベントや定期 的に一定量の配付・頒布	堆肥「とよっぴー」の配布により緑化を推進る一方、その原料が学校給食の食べ残しなどであることから、食品ロスや資源循環なと
Α	理くずや食べ残しなどに街路樹などの 剪定枝チップを混合し、堆肥「とよっ ぴー」の製造を行います。		(緑化 自然環 境係)	指標	緑化用バーク配布量	トン	(単年)	34	37	1		みどり		が出来ていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	多面的な視点で施策の評価を考える必要がある。	
施策内	・市民との協働により、農家や学校、 「花いっぱい運動」に参加する団体など に堆肥「とよっぴー」を配布するととも		-5E (AK)	C	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	推進	D			
容	に、定期的若しくはイベントなどで頒布することにより緑化を推進します。			担当課	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		・施設等へ (り堆肥「とよっぴ‐ の「緑化用バーク		る一方、その	ぴー」の配布により緑化を推進す)原料が学校給食の食べ残しなど ら、食品ロスや資源循環など多面	味による	В			
				に												
				よる						的な視点で見	で、ほのロヘマ貝が領域など多面 施策の評価を考える必要がありま	検 証				
旦体				ょ						的な視点で	か、艮品ロイド見が領域など多面施策の評価を考える必要がありま					
施策	41. 緑化樹木見本園及	ひ記	念樹の	よる検証	活用		•			的な視点で	か、長郎ローバド貝が領域などが 施策の評価を考える必要がありま					
施策	施策概要	実施状況	担当課	よる検証 A B E	活用指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	的な視点で	で、長田ログド貝が循環などが固定を 施策の評価を考える必要がありま 指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
施策	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整	1	担当課 公園み どり推 進課	よる検証 (森の)				平成30年度		的な視点です。	商策の評価を考える必要がありま	証 D	進捗評価	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効	
施策	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うとと	実施状況継続	担当課 公が が課 が課 が課 持 で 係、 を を り を り を り を り を り を り を り を り を り	よる検証 森の Bモニ	指標線化樹木見本園樹	単位	区分		64	的な視点で対す。	商策の評価を考える必要がありま	証 D公園み	進捗評価	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効 活用するため、施設の情報を広く発信する	
(施) (施) (施)	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活	実施状況継続	担当 公ど進(管係備係、改成)課持理整良線	よる検証 Bモニター指標	指標 緑化樹木見本園樹 木種類数 記念樹の森樹木本	単位	区分 (累計)	77	64	的な視点で対す。	商策の評価を考える必要がありま	証 D公園みどり推	進持評価	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行っていること から、概ね施策を実施で	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有效 活用するため、施設の情報を広く発信する	
A施策内容	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うとと	実施状況継続	担当課 公ど進(管係 備 会 が課持 整良	よる検証 森の Bモニター指標 C	指標 緑化樹木見本園樹 木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課	単位 種 本 緑化樹オ	区分 (果計) (果計)	200	64 200 の実施内容 こついて、樹木	的な視点でがす。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策の評価を考える必要がありま 指標に対する補足・留意事項	証 D公園みどり推進課に	進持評価	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行っていること から、概ね施策を実施で	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効 活用するため、施設の情報を広く発信する	
施策内	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うとと	実施状況継続	担当 盟り課 が課 が課 持理、改、自境 の作 の作 の作 の作 の作 の作 の作 の作 の の の の の の の の の の の の の	よる検証 の Bモニター指標 C担当課に	指標 緑化樹木見本園樹 木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課	単位 種 本 緑化樹オ	区分 (果計) (果計)	77 200 令和元年度 び記念樹の森に	64 200 の実施内容 こついて、樹木	的な視点でがす。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています	証 D公園みどり推進課による検	評価	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行っていること から、概ね施策を実施で	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効 活用するため、施設の情報を広く発信する	
施策内	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うとと	実施状況継続	担当 盟り課 が課 が課 持理、改、自境 の作 の作 の作 の作 の作 の作 の作 の作 の の の の の の の の の の の の の	よる検証 の Bモニター指標 C担当課	指標 緑化樹木見本園樹 木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課	単位 種 本 緑化樹オ	区分 (果計) (果計)	77 200 令和元年度 び記念樹の森に	64 200 の実施内容 こついて、樹木	的な視点でがす。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています	D公園みどり推進課による	評価	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行っていること から、概ね施策を実施で	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効 活用するため、施設の情報を広く発信する	
施策内容	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うともに、施設の情報を広く発信します。	実施状況継続	担当 公と進継軍 み推 課 み推 課 み推 課 み は の は 発 で 係 歯 係 化 環 係 と は 後 に 環 係 と は か と は か と か と か と か と か と か と か と か	森 Bモニター指標 C担当課による検証	指標 緑化樹木見本園樹 木種類数 記念樹の森樹木本 数 担当課 公園みどり推進課 (維持管理係)	単位 種 本 緑化樹オ	区分 (果計) (果計)	77 200 令和元年度 び記念樹の森に	64 200 の実施内容 こついて、樹木	的な視点でがす。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています	証 D公園みどり推進課による検	評価	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行っていること から、概ね施策を実施で	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効 活用するため、施設の情報を広く発信する	
施策内	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うともし、施設の情報を広く発信します。	実施状況	担 別	森 Bモニター指標 C担当課による検証	指標 緑化樹木見本園樹木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課 (維持管理係)	単位本線化樹材の剪定な	区分 (累計) (累計) 木見本園及などの維持	77 200 令和元年度 び記念樹の森に 管理を行いました	64 200 の実施内容 こついて、樹木 た。	的な視点でがす。 増減 ・ ↓ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています 情報発信や普及啓発への取組みが	証 D公園みどり推進課による検	評価 B	緑化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行っていること から、概本施策を実施で きていると評価します。	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効 活用するため、施設の情報を広く発信する 組みが必要です。	
施策内容	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について、緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うともに、施設の情報を広く発信します。	実施 状況 継続 実施 実施	担知の必進維管係備係化環係のの場合を表しません。	森 Bモニター指標 C担当課による検証 み Bモニター指標 Bモニター指標	指標 緑化樹木見本園樹 木種類数 記念樹の森樹木本 数 担当課 公園みどり推進課 (維持管理係)	単位 種 本 緑化樹オ	区分 (果計) (果計)	77 200 令和元年度 び記念樹の森に	64 200 の実施内容 こついて、樹木	的な視点でがす。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています	D公園みどり推進課による検証	評価	線化樹木見本園樹木種類 数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行っていること から、概本施策を実施で きていると評価します。 実施内容の評価 表彰制度の受賞件数及	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効 活用するため、施設の情報を広く発信する 組みが必要です。 今後の留意すべき点・改善点 みどりに関する各種イベントでの発表など、	
施策内容	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について。緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うともに、施設の情報を広く発信します。 ・市民参加を展との協働による取組みの活性化を図り、活動の認知度を高めるため、みどりのフォーラムやみどり	実施 状況 継続 実施 状況 継続	担 公ど進(管係備係化環係 の 当 園り課 み推 整良緑然 の 場 関り課 み は と は よ ま ま か は ま な は な は	森 Bモニター指標 C担当課による検証 み Bモニター Bモニター	指標線化樹木見本園樹木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課 (維持管理係) 彰制度の活用 指標 各種表彰制度の受賞件数	単位 種 本 緑化樹之た	区分 (累計) (累計) 木見本園及などの維持	77 200 令和元年度 び記念樹の森に 管理を行いました	の実施内容 こついて、樹木 た。	的な視点でがす。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています 情報発信や普及啓発への取組みが	証 D公園みどり推進課による検証 D公	評価 B	製化樹木見本園樹木種類数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な維持管理を行っていることから、根本施策を実施できていると評価します。 をいると評価します。 で、「花いっぱい運動写真展」の応募数が増加しまし	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効活用するため、施設の情報を広く発信する組みが必要です。 一会をの留意すべき点・改善点 みどりに関する各種イベントでの発表など、 緑化の推進に積極的に取り組む市民に活発表の場を提供することにより協働の取組	
施策内容	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について泉化の客祭やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うともに、施設の情報を広く発信します。 ・市民参加やを図り、活動の認知度を高めるため、みどりのフォーラムやみどりのつどい、花いっぱい運動写真展などの活動発表の場、豊中市市デザイン賞やとよなかエコ市民賞、大阪ランド	実施 採続 整統 実施況 継続	担 公ど進(管係備係化環係 カ 担 公ど進(制度) 関リ課 特理 整良 緑然 り 関リ課 特理 整良 緑然	森 Bモニター指標 C担当課による検証 や Bモニター指標 C担当課による検証 ***	指標 緑化樹木見本園樹木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課 (維持管理係) 彰制度の活用 指標 各種表彰制度の受	単位 種 本 緑化樹之た	区分 (累計) (累計) 木見本園及などの維持	77 200 令和元年度 び記念樹の森に 管理を行いました	64 200 の実施内容 こついて、樹木 た。	的な視点でがす。 増減 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています 情報発信や普及啓発への取組みが	証 D公園みどり推進課による検証 D公園みどり	評価 B	製化樹木見本園樹木種類数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正な 維持管理を行ていること から、概ね施策を実施で きていると評価します。 要施内容の評価 表彰制度の受賞に強動写真 展」の応募数が増加しました。また、市民参加や市 民との協働による取組み の認知度の向上を図って	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効活用するため、施設の情報を広く発信する組みが必要です。 一会の習意すべき点・改善点 みどりに関する各種イベントでの発表など、 緑化の推進に積極的に取り組む市民に活発表の場を提供することにより協働の取組 の活性化を図ること。また、そういった活め 表の場や表彰制度への参加を促すための	
施策内容 具施 A施策内	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について製化の客祭やみどりに親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うとともに、施設の情報を広く発信します。 ・市民参加や右図り、活動の認知度を高めるため、みどりのフォーラムやよどりのつどい、花いっぱい運動写事市デザン賞やとよなかエコ市民賞、大阪ランドスケーブ賞などの表彰制度を有効に活用します。・市民の活動発表の場や表彰制度へ	実施, 継続 実施況 継続	担 公ど進(管係備係化環係 カ 担 公ど進() 管係備係化環係 カ 担 公ど進() 自境花ど相 別 関 り 課 料 理 を は 最 り 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 報 か 性 を は な か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か	森 Bモニター指標 C担当課による検証 み Bモニター指標 C	指標 緑化樹木見本園樹木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課 (維持管理係) 彰制度の活用 指標 各種表彰制度の受賞件数 花いつばい運動写真 展応募数	単位本緑のの剪定な	区分 (累計) (累計) 木見本園持 区分 (単年)	77 200 令和元年度 び記念樹の森に管理を行いました 管理を行いました 168 令和元年度	64 200 の実施内容 こついて、樹木 た。 6 266	的な視点でがす。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する補足・留意事項 施策に対する課題 D情報発信をHPで発信しています。 報発信や普及啓発への取組みが	D公園みどり推進課による検証 D公園みどり推進課	評価 B 進持	表に樹木見本園樹木種類数は減少していますが、 樹木の剪定などの適正なと がら、概れ施策を実施で きていると評価します。 を ま彰制度の受賞件数及 び、「花いっぱい連動写真 展」の応募数が増加しました。また、市民参加や市 民との協働による取組み	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効活用するため、施設の情報を広く発信する!組みが必要です。 今後の留意すべき点・改善点 おどりに関する各種イベントでの発表など、 緑化の推進に積極的に取り組む市民に活験表の場を提供することにより協働の取組 の活性化を図ること。また、そういった活めの活性化を図ること。また、そういったあの	
施策内容	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について製造して有効に活用するため、適正な維持管理を行うとともに、施設の情報を広く発信します。 ・市民参加や右とのは、活動のに対して表ができた。 ・市民参加や右と図り、活動のほとる政を高めるため、みどりのフォーラムやよどりのつどい、花いっぱい運動事まかとどの活動発表の場、豊中百、大阪ランドスケーブ賞などの表彰制度を有効に表示を提供している。 ・市民の活動発表の場や表彰制度を有効に発力を表彰された活動の内容の情報発信なの情報発信な	実施, 継続 実施況 継続	担 公ど進(衛係化環係 り	森 Bモニター指標 C担当課による検証 み Bモニター指標 C担当	指標 緑化樹木見本園樹木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課(維持管理係) 彰制度の活用 指標 各種表彰制度の受賞件数 たいっぱい運動写真 起当課 花とみどりの相談所	単位本緑のの単単位件点にもある。	区分 (果計) (果計) (果計) (果計) (東計) (東計) (東京の経済 (東京の展 (東京の経済 (東京の経済 (東京の展 (東	77 200 令和元年度 び記念樹の森に管理を行いましば 管理を行いましば で で	の実施内容 こついて、樹木 た。	的す。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する課題 「施策に対する課題 「持機に対する課題 「対象を信をHPで発信しています。 「報発信をHPで発信しています。 「報発信や普及啓発への取組みが 「対する課題 「より多くの方々に応募いただく。 「情報発信や普及啓発への取組	証 D公園みどり推進課による検証 D公園みどり推進課による	評価 B	表に樹木見本園樹木種類数は減少していますが、樹木曽理を行っていることを	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効活用するため、施設の情報を広く発信する!組みが必要です。 今後の留意すべき点・改善点 おどりに関する各種イベントでの発表など、 緑化の推進に積極的に取り組む市民に活験表の場を提供することにより協働の取組 の活性化を図ること。また、そういった活めの活性化を図ること。また、そういったあの	
施策内容 具施 人施策内	施策概要 ・樹木緑化の参考となる施設として整備した緑化樹木見本園、出生などの記念として配付した記念樹を植栽して整備した記念樹の森について製化の整備といる場合では親しむ場として有効に活用するため、適正な維持管理を行うとともに、施設の情報を広く発信します。 ・市民参加や市民との協働による取組みの活性化を図り、活動の認知度を高めるため、みどりのフォーラムやみどりのつどい、花いつばい運中市、大阪の活動を表も、みどりのフォーラムでよび、イン賞やとよなかエコ市民賞、木阪ラに活用します。・市民の活動発表の場や表彰制度を有効に活用します。・市民の活動発表の場や表彰制度の広報、活動発表の場や表彰制度の広報、活動発表の場や表彰制度の広報、活動発表をの場や表彰制度の広報、活動発表やの積極的な参加を促すため、活動発表やの積極的な参加を促すため、活動発表や	実施, 継続 実施況 継続	担 公ど進(管係備係化環係 カ 担 公ど進() 管係備係化環係 カ 担 公ど進() 自境花ど相 別 関 り 課 料 理 を は 最 り 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 課 み 推 化 環 、 み の 後 報 か 性 を は な か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら か	森 Bモニター指標 C担当課による検証 や Bモニター指標 C担	指標 緑化樹木見本園樹木種類数 記念樹の森樹木本数 担当課 公園みどり推進課(維持管理係) 彰制度の活用 指標 各種表彰制度の受賞件数 たいっぱい運動写真 起当課 花とみどりの相談所	単位本緑のの単単位件点にもある。	区分 (果計) (果計) (果計) (果計) (東計) (東計) (東京の経済 (東京の展 (東京の経済 (東京の経済 (東京の展 (東	77 200 令和元年度 び記念樹の森に管理を行いました 管理を行いました 168 令和元年度 などの一の月に「れ	の実施内容 こついて、樹木 た。	的す。 増減 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施策に対する課題 「施策に対する課題 「持機に対する課題 「対象を信をHPで発信しています。 「報発信をHPで発信しています。 「報発信や普及啓発への取組みが 「対する課題 「より多くの方々に応募いただく。 「情報発信や普及啓発への取組	証 D公園みどり推進課による検証 D公園みどり推進課によ	評価 B 進持	表に樹木見本園樹木種類数は減少していますが、樹木曽理を行っていることを	緑化の啓発やみどりに親しむ場として有効活用するため、施設の情報を広く発信する!組みが必要です。 今後の留意すべき点・改善点 おどりに関する各種イベントでの発表など、 緑化の推進に積極的に取り組む市民に活験表の場を提供することにより協働の取組 の活性化を図ること。また、そういった活めの活性化を図ること。また、そういったあの	

7. 1. 1.1.

基本	施策11 みどりの普及啓 务	È													
具体施策	43. みどりに関するイ	ベン	トの開	催											
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・花とみどりの講習会やみどりのフォーラム、自然環境啓発イベントなど、市民 ニーズを反映した魅力ある様々な内容	継続	公園み どり推 進課	В	みどりに関するイベ ント参加者数	人	(累計)	27,681	41,348	1	平成29年度からの累計値			全活動団体数が減少しま	みどりに関するイベントの開催を引続き実施 し、参加者数の増加を図るとともに、幅広い 世代が参加したくなるようイベント内容を工夫
	ー へんないに思うめるは、ないら のイベントを開催します。また、イベント 開催時には、みどりの保全や緑化に関 する支援制度、多様な緑化手法などの		(緑化 自然環 境係、	モニター	公民館等の自然環 境関連イベント件数	件	(単年)	8	8	B —		D 公 園		ついては現状維持できていることから、概ね施策を実施できていると評価しま	
A	普及啓発に努めるとともに、市民活動 などの情報提供により、みどりに関する 活動を支える人材の発掘や育成を推		花とみ どりの 相談	指標	農業祭参加者数	人	(単年)	4,500	4,500	_		みどり		す。	
施策内容	進します。		所、企 画調整 係)		NPO法人などの環 境保全活動団体数	人	(単年)	17	15	5 ↓		推進課	В		
容			,,,,,	C	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	による	В		
				担当課による検証	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)	ど、様々	マなみどりに 型コロナウ・	や豊中みどりの 関するイベント イルス対応によ	を実施しまし	令による中.	するイベントの参加者数は、警報発 止や天候等によって参加者数が大 す。	検証			
具体施策	44. みどりに関する情	報発	信												
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・広報とよなかやホームページをはじ め、マスメディアやスマートフォンなどの インターネットなどを活用し、みどりに関	継続	公園み どり推 進課	B ==	情報誌の発行件数	件	(単年)	30	29	1					幅広い世代に情報発信するために、SNSなどを活用したみどりに関する広報を検討していく必要があります。
	するイベントや制度、みどりに関する活動などの情報を広く発信します。また、 市民との協働により発行している「みど	(緑化 自然環 境係、	タ 指	ホームページによる 情報発信件数	件	(単年)	62	58	J		D 公 園		ページなどを通じて、みど りに関するイベントや活動 の情報発信ができている		
A 施	りだより」や「相談所ニュース」などの情報誌を活用して、多様な緑化手法などの普及をともに、市民活動などの時などの情報提供により、おどいに関		花とみ どりの 相談 所、維	標	NPO法人などの環 境保全活動団体数	Д	(単年)	17	15	5 ↓		みどり		ことから、概ね施策を実施 できていると評価します。	
策内容	動などの情報提供により、みどりに関する活動を支える人材の発掘や育成を 推進します。		持管理係、企画調整		担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	推進課	В		
			區、 係、改 係)	担	公園みどり推進課 (緑化自然環境係)			ームページなど。 や活動の情報多			に情報発信するために、SNSなど みどりに関する広報を検討していく ます。	による検証			
具体施策	45. 自然体験及び野外	·活動	の場の	活用											
肥束	施策概要	***			指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・野外炊さん場や竹林などがある千里 中央公園、能勢町の広大な自然を有す	継続	公園みどり推	В	千里中央公園野外	λ	(単年)	1,262	1,598				評価	わっぱる利用者数が減少	公園などの自然環境を活用し、幅広い世代 が楽しみながら活動できる体験メニューを用
	る「豊中市立青少年自然の家わっぱる」などを活用し、心の豊かさを育む自然体験や野外活動を推進するととも		進課 (維持 管理	モニター	炊さん場利用者数 千里中央公園野外	団体	(単年)	32				D 公			意する、また市ホームページなどによる広報
Δ	に、利用者のニーズに合わせた広報を 行うなどの適切な普及啓発に努めま す。		係)、社 会教育 課	教育 標	炊さん場利用団体数 豊中市立青少年自 然の家わっぱる利用		(単年)	14.009		1		園みど			
施策内					者数担当課		(++/	令和元年度	,	•	施策に対する課題	り推進	_		
容				C担当課による検証	公園みどり推進課 (維持管理係)	実施し	ました。また		が炭焼き体験を の家わっぱる		野外活動の推進のため、さらにイ する必要があります。	課による検証	В		
具体施策	46. 緑化事業基金の活	用													
	施策概要	実施 状況	担当課	B =	指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・みどりに関するイベントや取組みなど を通じて緑化事業基金の意義や目的を 発信し、集まった基金については、みど	拡充	公園み どり推 進課	モニター	緑化事業基金に対 する寄附件数	件	(単年) 1	13	3 63	1		D 公		の拡充に伴い、寄付件数 が大幅に増加しました。地	返礼品の拡充に伴い、寄附件数の増加が見 込まれることから、今後、基金の活用と確保 について、更なる情報発信とともに、計画的
A	りの保全や緑化活動、みどりの解説サインの設置など、みどりに対する理解 や関心を深めるための事業に有効に 活用します。		(企画 調整 係、緑 化自然	指標	緑化事業基金活用 額	円	(累計)	2,930,000	110,000	1	平成30年度についてはヒメボタル特別緑地保全地区の整備に運用益 (利子)のほか、基金の一部を活用しました。	園みどり		に関する活動の支援等に 基金を活用していることか	かつ効果的な運用の検討が必要です。
施策内	7111067.		環境係、花とみど	С	担当課			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	推進	Б	ら、概ね施策を実施できて いると評価します。	
容	内		り談維理整良 相、管、改良	担当課による検証	公園みどり推進課 (企画調整係)	必要な		化の推進に関す ため、緑化樹木・ ました。		範囲で緑化 たが、今後日 報発信をす	まった基金の内、運用益(利子)の 資材の購入などに活用してきまし ならに緑化の推進に効果的な情 るなど、基金の確保と合わせて、 効果的な運用の検討が必要です。	課による検証	В		
	<u> </u>	<u> </u>	1		<u> </u>	1				[<u> </u>	<u>l</u>	

緑化重点地区

進捗評価
「Bモニター指標」、「C担当課による検証」及び地域別の取組み状況を踏まえて、具体施策全体で進捗状況を評価。 A: すべての施策内容を実施することができている。 B: 概ね施策内容を実施することができているが、実施できていない施策がある。 C: 施策内容を実施することができているものもあるが、実施できていない施策も多い。 D: 施策内容のほとんどが実施できていない。

	重点地区 点的な施策>										B:概ね施策内容を実施することができ C:施策内容を実施することができ D:施策内容のほとんどが実施でき	ているも	のもあるが		Λ ₀		
項目	みどりの拠点																
	施策概要 ・広域避難場所である野田中央公園、 応援受入拠点である菰江公園の延焼 遮断帯の形成やオープンスペースの確 保など、拠点となる公園の防災機能の	実施 状況 継続	担当課 公とり は 課 は 維持	B	指標 公園・緑地の防災施設設置箇所数(南部)	単位 箇所	(累計)	平成30年度 29	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	となりましたが、みどりの め	今後の留意すべき点・改善点 は寺林などの拠点となる樹木を保全するた 、保護樹等助成金制度の内容の見直した を検討し、所有者の負担の軽減を図る必 おがあします。		
	強化を図ります。金文付制度」などによい、様構総社や住吉神社(豊南町西)などの社寺林の保全を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。・神崎川公園の再発備により、運動施設や植栽のみどりの充実を図ります。		管係化環係ポ振理緑然スツ課	ニター指標	保護樹指定件数(南部) 保護樹指定本数(南部)	本	(累計)	30	29	1		D公園みどり	公園みど	維持管理を行っていることから、概ね施策を実施できていると評価します。			
策内容	政や他林のかとうの元夫を囚りより。		派英硃	C 担当	保護樹林指定面積 (南部) 担当課 公園みどり推進課 (維持管理係)	m [*] 公園・ 施しまし	录地の日常の	4,100 令和元年度 O除草や剪定な	の実施内容	拠点である	施策に対する課題 所である野田中央公園、応援受入 流江公園の延焼遮断帯の形成を	推進課による検証	В				
				課による検証	公園みどり推進課 (緑化自然係)	でした。		定(0本)は、指定されている保護やいました。		理が必要で 助成金が樹 の、樹木の	ともに、防火施設の適正な維持管す。 木保存の一助となってはいるもの 推持管理等、樹木保存に対する所 は大きいです。	AII.					
項目	みどりの軸																
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点		
	・旧猪名川のまとまりのある草地、天竺川や高川の堤内地側の法面の樹林地や草地などを保全するとともに、神崎川の緑道や緑地帯では、景観や利活用に配慮した適正な維持管理を行いま	継続	大阪 府、公 別推進 課(維	B t	親水水路樹木本数(南部) 親水水路低木面積	本	(累計)	263	336	Î		D		いて、植栽管理や清掃を 実施しており、適正な維持 管理を行っていることか 全	k化重点地域のみどりの満足向上に向け 、多様な取組みが求められているみどり 的において、地域住民と協働したみどりの を推進していくため、大阪府アドプト・リ 、一プログラムなどの制度を積極的に広頼		
A	に配慮した適正な維持管理を行います。 ・中央幹線景観水路や豊能南部親水 水路の樹木などの適正な維持管理を 行います。		辞 特管理 係 盤 保全 課	ーター 指標	河川流域面積(南部)	mi ha	(累計)	6,665 54	6,665 54	_		公園みどり			ープログリムなどの前度で模型的に広報 「いくことが必要です。		
心策 内容					大阪府アドプト・リ バープログラム協定 締結件数(南部)	件	(単年)	2	2	_		推進課によ	В	交 判 で り 。			
				C担当課による検証	担当課 公園みどり推進課 (維持管理係)		線景観水路	令和元年度 や豊能南部親』 吊や植栽管理な	k水路につい	創出と保全域」における	施策に対する課題 及び道路など、軸となるみどりの をするために、「みどりの風促進区、 事業の連携やエコロジカル・ネット 成など、多様な取組みが求められ	検証					
項目	公園・緑地																
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点		
	・公園・緑地の樹木などの適正な維持 管理を行います。 ・「自主管理協定制度」などにより、地	継続	公園み どり推 進課		公園・緑地の開設箇 所数(南部)	箇所	(累計)	99	99	_				管理協定制度登録団体 に	自主管理協定制度」などにより、地域住民 よる花壇管理などの緑化活動を推進す。 ともに、制度の普及啓発に努めること。ま		
	域住民による花壇管理などの緑化活動を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 ・延焼防止効果を高めるため、沿道の みどりの保全や育成を推進するととも		(維持 管理 係)	Bモニター指標	公園・緑地の開設面積(南部) 自主管理協定制度	m ^a	(累計)	151,333	151,333	-				ますが、防災施設設置個 た 所数は増加しています。ま 沿	、引き続き、延焼防止効果を高めるため 計画のみどりの保全や育成の推進、防災 はの適正な維持管理を行うことが必要です。		
	に、防災施設の適正な維持管理を行い ます。				登録団体数(南部) 自主管理協定制度 活動箇所数(公園) (南部)	箇所	(累計)	62 56	43	1		D公園みどり		概わ施策を実施できてい ると評価します。			
施策内容					豊中市アダプトシステム協定締結件数(南部) 公園・緑地の防災施	件	(累計)	2	2	_		推進課に	В				
				С	設設置箇所数(南部)	箇所	(累計)	29 令和元年度		1	施策に対する課題	よる 検 証					
				担当課による検証	公園みどり推進課 (維持管理係)	の剪定のみど	や除草等の りの保全や育	ける公園・緑地I 維持管理を行い 育成を推進する。 管理を行います	ゝました。沿道 とともに、防災	よる花壇管	名定制度」などにより、地域住民に 理などの緑化活動を推進するとと)普及啓発に努めることが必要で						
項目	街路樹・緑道																
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点		
	基づき、通り池水路などの緑道の整備 を推進します。	拡充	公園み どり推 進課	В	街路樹本数(市道) (南部)	本	(累計)	5,096	3,961	ļ				減少していますが、緑道 往の整備に向けて、地権者 や	続き緑道の整備を推進していくとともに、		
	都市計画道路の三国塚口線や穂積 菰江線などの街路樹の整備を推進します。神崎刀根山線や穂積菰江線などの街		(維持 管理 係、整 備改良	ロモニタ	街路樹本数(府道) (南部)	本	(累計)	20	20	_		D		等と調整を図り、現在整備中の都市計画道路において街路樹等の整備をする	:11:2 Cいへ必要かめります。		
	・神崎が成山線や徳侯孤江線などの街 路樹や緑道の樹木などの適正な維持 管理を行うとともに、老木化した樹木の 更新を行います。		備係化環係市課盤課改、自境)、整、整 良緑然 都備基備	指標	街路樹本数(国道) (南部)	本	(累計)	160	158	_		公園み		予定としています。このことから、概ね施策を実施できていると評価します。			
策内	・花垣やフラケーポットなどにより、沿道 の草花緑化を推進します。 ・延焼防止効果を高めるため、沿道の みどりの保全や育成を推進します。			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	街路樹低木面積(市道)(南部) 緑道·街路樹整備件	mî mî	(累計)	20,318	20,845	↑ ↑		どり推進課	В				
容					数(南部)			令和元年度	の実施内容		施策に対する課題	による					
				C担当課による検証	公園みどり推進課(維持管理係)	成30年 ら名称 した。 道路沿 持管理	度に「第3次変更)に基づ いなどの花り を行うととも	町地区住環境素 庄内地域住環境 く緑道の整備の ・フラワーポッ	を備計画」(平 竟整備計画」かり推進を行いま トの適切な維動による花苗	している場合 街路樹や緑 いくためにも などが発生	整備については、権利関係が輻輳 合が多く、調整に時間を要します。 道の樹木などを保全、育成をして 、不適切な剪定や不適切な植栽 しないよう計画的に維持管理を 要があります。	· 検 証					

項目	学校														
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・敷地内や沿道のみどりの保全や緑化の推進、校舎の壁面を利用した緑化を	<u>خ</u>	教育委 員会、		小・中学校及びこど も園ビオトープ設置	件	(単年)	4	4	_			21,02	テン実施箇所数が増加し	今後予定される、学校の再配置と連動したした、みどりの確保や緑化の推進に努める必
	推進し、目にするみどりの量の増加を 図るとともに、学校の再配置が行われ る場合には、みどりの確保に努めま		公園みどり推進課	В		m²	(単年)	185	185	_				て、ゴーヤによるみどりの カーテンづくりや緑化樹の	要があります。また、引き続きみどりのカーテンづくりの指導方法を見直すとともに周知していくことが必要です。
	す 。		(緑化 自然環 境係)、	モ ニ タ	面積(南部) 公立小学校農園実 施校数(南部)	校	(単年)	8	8	_		D 公		配付等の緑化活動を実施していることから、施策を実施できていると評価しま	
			施設整備課	指標	公立小学校みどりのカーテン実施箇所数	箇所	(単年)	5	6	1		園 み ど		す。 	
施策					(南部) 公立小・中学校・こど も園芝生化件数(南	件	(単年)	2	2	_		り 推 進			
容容					部) 公立小・中学校・こど			2,000	0.000			に よ	Α		
					部)	m	(単年)	2,000		_	****	検証			
				C担当課による検証	担当課 公園みどり推進課 (緑化自然環境係)		-ヤによるみ	令和元年度 J、公立小学校ヤ ・どりのカーテンプ	5公共施設等	ため、みどり	施策に対する課題 立小学校等への緑化の推進を図るのカーテンづくりの指導方法の見ての検討が必要です。		III		
項目	駅前														
	施策概要	実施 状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・市民参加や市民との協働によるプランターなどを活用した草花緑化により、 魅力的な駅前づくりを推進するととも	拡充	公園み どり推 進課	В	まちづくり団体の取 組み箇所数(南部)	箇所	(累計)	0	0	_				いますが、市民との協働	
	に、駅前の再開発が行われる場合に は、みどりの確保に努めます。		(緑化 自然環 境係)、	モ ニ タ	まちづくり団体のみ どりの活動プロジェク ト件数(南部)	件	(累計)	0	0	_		D 公 園		による育自ので吸収短の 管理活動により、景観形 成の向上に努めているこ とから、概ね施策を実施で きていると評価します。	
A			都市整 備課		花壇設置面積(南部)	m²	(累計)	457	399	1		みどり			
施策内容					フラワーポット設置	箇所	(累計)	585	570	1		推進課	В		
**				С	数(南部)	回別	(発引)			+	佐命ニナナナス・細路	課による			
				担当課	担当課 花とみどりの相談所			令和元年度 壇、フラワーポッ に、市民との協	トの適切な維		施策に対する課題 化を推進するため、スペースの確 系部局と連携した対策が必要です。	検 証			
				による検証		の育苗		の管理活動によ		水みと、風が	KRINJC上上がした対象が必要です。				
項目	住宅地・商業地・工業地	など													
	施策概要	実施状況	担当課		指標	単位	区分	平成30年度	令和元年度	増減	指標に対する補足・留意事項		進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
	・税制優遇などを活用して、300m2以上の敷地において、20%以上の緑化施設が整備された住民の利用に供する市		公園みどり推進課		市民緑地認定件数 (南部)	件	(単年)	0	0	_					緑化重点地区の住宅地・商業地・工業地に
	民緑地を設置し、これを管理する者が 作成する計画を認定する「市民緑地認		(緑化 自然環		生垣緑化助成件数									について取組み見られな	対して、緑化を推進していくために、「緑化樹等配付制度」等の制度について十分な理解
	定制度」の適用を推進します。 ・「生垣緑化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の		境係、		(南部)	件	(単年)	0	0	_				について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
	・「生垣緑化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道緑化を推進すると		花とみ どりの 相談			本	(単年)	0	0					について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報発信するとともに、地域の緑化に関する意識
	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などによ り、準工業又は工業地域における事業		花ど相所業課、 おの産興環	B +	(南部) 生垣緑化助成本数	件 本 m		0 0	0	_				について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などによ り、準工業又は工業地域における事業 所の新設や増設、建替えなどの際の積 極的な線化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えで育てる植		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	B モニタ I	(南部) 生垣緑化助成本数(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 環境配慮奨励金交	件 本 m	(単年)	0 0	0 0 0	_		D公園		について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
A	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などによ り、準工業又は工業地域における事業 所の新設や増設、建替えなどの際の積 極的な緑化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えで育てる植 物などに関する情報の発信、出前によ る花とみどりの講習会、みどりに関する イベントの積極的な開催などにより。み		花ど相所業課境課とり談、振、政、 産興環策施	± =	(南部) 生垣緑化助成本数 (南部) 生垣緑化助成延長 (南部) 環境配慮奨励金交付件数(南部) みどりに関するイベ	m	(単年)	0 0 1	0 0 0 2 2 133			D公園みどり		について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
A 施策内:	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などにより、準工業又は工業地域における事業 所の新設や増設、建替えなどの際の積 極的な緑化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えで育てる植 物などに関する情報の発信、出前によ る花とみどりの講習会、みどりに関する イベントの積極的な開催などにより、み どりの保全や線化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに 対して、線化用樹木を配付する「緑化		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	モニター指	(南部) 生垣緑化助成本数 (南部) 生垣緑化助成延長 (南部) 環境配慮奨励金交 付件数(南部) みどりに関するイベント参加者数(南部) 緑化樹配付件数(南	m	(単年)	0 0 1 1 0 8	0 0 0 2 133			公園みどり推進	C	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などによ り、準工業又は工業地域における事業 所の新設や増設、建替えなどの際の積 極的な緑化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えで育てる植 物などに関する情報の発信、出前によ る花とみどりの講習会、みどりに関する イベントの積極的な開催などにより、み どりの保全や緑化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに 対して、緑化用樹木を配付する「緑化 樹等配付制度」「こより緑化を推進する とともに、制度の普及啓発に努めます。 宅地化などの開発行為に伴う「豊中		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	モニター指	(南部) 生垣緑化助成本数 (南部) 生垣緑化助成延長 (南部) 環境配慮奨励金交 付件数(南部) みどりに関するイベント参加者数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部)	m 件 人	(単年) (単年) (累計)	0 0 1 0 8	0 0 0 2 133 7	- - - t		公園みどり推進課によ	С	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
内	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などにより、準工業又は工業地域における事業 所の新設や増設、建替えなどの際の積 極的な線化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えで育てる植 物などに関する情報の発信、出前による 表花とみとりの講響。よどりに関する 右花とみとりの講響。はいましていまして、 とりの保全や線化を推進します。 とりの保全や線化を推進します。 とりの保全や線化を推進します。 とりの保全や線化を推進します。 とりの保全や線化を推進します。 とりの保全や線化を推進しまり。 とりの保全では、 対して、線化用樹木を配付する「緑化 横等配付制度」により緑化を推進する とともに、制度の普及啓発に努めます。		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	モニター指	(南部) 生垣緑化助成本数(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 環境配慮奨励金交付件数(南部) みどりに関するイベント参加者数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数	m 件 人	(単年) (単年) (累計) (累計)	0 0 1 0 8 375	7	- - - t		公園みどり推進課に	С	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
内	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及容発に努めなどに、 ・「環境配慮奨励金交付制度」などの際の が直線化の手法や射視を が必道線化の手法や射相を がなどに関める情報の発信、出に関い、 が沿道線化の手法や射相をなどにより、 がは、の手法や射相をなどにより、 がなどに関係の手法や射相をなどにより、 がは、の保全や線化を推進します。 などともに、制度の普及容別に関い、 かとりの保全や線化を推進します。 かとりの保全や線化を推進します。 がは、の保全や線化を推進します。 がは、の保全や線化を指進します。 がは、網度の普及啓発に等めませい に関いる。 に関いる がは、の保全や線化を推進します。 がは、の保全や線化を推進します。 などに、制度の普及啓発に等がませい 市環境配慮指針」に基づく線化協議 より、線化を推進します。 の際には、可能な範囲で花壇などの推 裁定目を確保し、その空間の線化を推 裁定目ます。 ・延焼防止効果の高い樹種や植栽方		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	モニター指	(南部) 生垣緑化助成本数(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 環境配慮奨励金交付件数(南部) みどりに関するイベント参加者数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数(南部) 環境配慮協議終化	m 件 人 件	(単年) (単年) (累計) (累計) (単年)		7			公園みどり推進課による検	С	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
内	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などにより、 準工業又は工業地域における事業 所の新設や増設、建替えなどの際の積 極的な緑化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えで育てる植 物などに関する情報の発信、日前により、 みどりの講習会、みどりに関する イベントの積極的な開催などにより、 みどりの保全や緑化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに 対して、緑化用樹木を配付する「線化 樹等配付制度」「こより緑化を推進する とともに、制度の普及啓発に努めます。 を地化などの開発行為に伴う「豊中 市環境配慮指針」に基づく緑化協議 より、緑化を推進します。 ・「「仮称)南部コラボセンター」の建設 の際には、可能な範囲で花壇などの植 独写的には、可能な範囲で花壇などの植 独写的を確保し、その空間の緑化を推 進します。		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	モニター指標	(南部) 生垣緑化助成本数 (南部) 生垣緑化助成延長 (南部) 環境配慮奨励金交 付件数(南部) みどりに関するイベント参加者数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数 (南部)	件人件本件	(単年) (単年) (累計) (単年) (単年)	11	7 1,664 6 3,373		施策に対する課題	公園みどり推進課による検	С	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
内	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めなどに、 ・「環境配慮奨励金交付制度」などの際の積 種的な縁化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植え、での が立どに関する情報の発信、といいでは 物などに関する情報の発信、といいでは も花とみどりの講習会を、みどりに関する イベントの積極的な開催などにより、み どりの保全や線化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに 対して、緑化用樹木を配付する近ます。 ・自治会やマンションの管理組合などに 対して、緑化用樹木を配付するが進すす。 ・宅地化などの開発行為に保 はで、は、可能の がは、は、で、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	モニター指標	(南部) 生垣緑化助成本数(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 環境配慮奨励金交付件数(南部) みどりに関するイベント参加者数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数(南部) 環境配慮協議縁化面積(南部)	ー 件 人 件 本 件 が 自筋庁。	(単年) (単年) (累計) (累計) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年)	2,954	7 1,664 6 3,373 の実施内容 ごに対して、大 関係しました。	ー ー ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	区のみどりの保全や緑化に関する 活用を推進するため、積極的な普	公園みどり推進課による検	С	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
内	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及啓発に努めなどに、 ・「環境配慮奨励金交付制度」などの際の積 種的な縁化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植え、での が立どに関する情報の発信、といいでは 物などに関する情報の発信、といいでは も花とみどりの講習会を、みどりに関する イベントの積極的な開催などにより、み どりの保全や線化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに 対して、緑化用樹木を配付する近ます。 ・自治会やマンションの管理組合などに 対して、緑化用樹木を配付するが進すす。 ・宅地化などの開発行為に保 はで、は、可能の がは、は、で、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に、 ・に		花ど相所業課境課設とり談)振、政、整の産興環策施備	モニター指標 C担当課による検	(南部) 生垣緑化助成本数(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 環境配慮奨励金交付件数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数(南部) 環境配慮協議線化面積(南部) 担当課 公園みどり推進課	ー 件 人 件 本 件 が 自筋庁。	(単年) (単年) (累計) (累計) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年)	2,954 令和元年度 の管理組合など る線化樹木の配 関するイベントを	7 1,664 6 3,373 の実施内容 ごに対して、大 関係しました。	ー ー ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	区のみどりの保全や緑化に関する 活用を推進するため、積極的な普	公園みどり推進課による検	С	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
内容	・「生垣線化助成金交付制度」の制度 の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及密発に努めなどに、 ・「環境配慮奨励金交付制度」などの際の がな縁化を推進します。 ・沿道線化の再接の書金、みどりに関する がなどに関する情報の発信、といいでは、 を指述します。。 ・沿道線化の再接の整合、みどりに関する を花とみどりの講習会、みどりに関する を花とみどりの講習会、みどりに関する がなどに関する情報の発信、といいでは、 とりの保全や線化を推進します。 ・自治会やイントの積極的な開催などにより、 みどりの保全や線化を推進します。 ・自治会やアンションの管理組合などに対して、線化用樹木を配付を進すする。 がはて、制度の普及啓発に努めまま中 市環境配慮指針」に基づく線化協議 ・「(仮称)南部コラボセンター」の建設 の際には、確保し、その空間の線化を推進します。 ・で焼防止効果の高い規を高める が変間を保し、その空間の線化を推進します。 ・延焼防止効果の高い規を高める が変間を保し、その等との が変にないませんを推進します。 ・延焼防止効果の高い規を高めるみどりの普及啓発に努めます。	実統況	花ど相所業課境課設とり談)振、政、整みの 産興環策施備	モニター指標 C担当課による検証 Bモ	(南部) 生垣緑化助成本数(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 環境配慮奨励金交付件数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数(南部) 環境配慮協議線化面積(南部) 担当課 公園みどり推進課	ー 件 人 件 本 件 が 自筋庁。	(単年) (単年) (累計) (累計) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年)	2,954 令和元年度 の管理組合など る線化樹木の配 関するイベントを	7 1,664 6 3,373 の実施内容 ごに対して、大 関係しました。	ー ー ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	区のみどりの保全や緑化に関する 活用を推進するため、積極的な普	公園みどり推進課による検証	C	について取組み見られないこともあることから、施 策の一部しか実施できていないと評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解 を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の緑化に関する意識 の向上のために、みどりに関するイベントを
内容	・「生垣緑化助成金交付制度」の制度の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進するとともに、制度の音及容発に努めなどに、 ・「環境配慮奨励金交付制度」などの際の積極的な縁化を推進しまって、 ・沿道線化の手法や鉢植えなどの際の積極的な縁化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えるどの際の積極的な縁化を推進します。 ・沿道線化の手法や鉢植えるで、自前による花とみどりの講習会、みどりに関する情報の発信、といて、 をどりのはいて、 ・定かに関する情報の発信、といて、 ・に対して、緑化用樹木を配付する推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに対して、緑化用樹木を配付する指導するに対して、緑化用植木を配付するが表化を推進します。 ・定地化などの開発行為に伴う「霊地化などの関係には、確集直には、可能を指針」に基づ、緑化協議には、特別を開発には、では、一切を開発である。 ・定地化などの開発である。・では、一切の建設の際には、確構進します。 ・近、作の称)南部コラボセンター」の建設の際には、確保し、その空間の緑化を推進します。 ・延焼防止効果の高い樹種や植裁方法の助言など、防災効果を高めるみどりの普及啓発に努めます。	実施	花ど相所業課境課設課とり談、振取改、整 増	モニター指標 C担当課による検証 B	(南部) 生垣緑化助成本数(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 堤境配慮奨励金交付件数(南部) みどりに関するイベント参加者数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数(南部) 環境配慮協議線化面積(南部) 環境配慮協議線化	ー 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(単年) (単年) (果計) (果計) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年)	11 2,954 令和元年度 の管理組合なと 5級化樹木の配 関するイベントを ついては2件交	7 1,664 6 3,373 の実施内容 ごに対して、大 付を行いまし 開催しました。 付しました。	ー ー ↑ ↑ ↑ ↓ ↑ ↑ ↓ ↓ ☆ 接続発が必める。	区のみどりの保全や緑化に関する 活用を推進するため、積極的な普 要です。	公園みどり推進課による検証 D公園みど	進捗	について取組み見られないこともあることから、施 家の一部しか実施できて いないと評価します。 実施内容の評価 みどりの風のなかったこと ははり、施評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報 発信するとともに、地域の線化に関する意識の向上のために、みどりに関するイベントを 積極的に行っていくことが必要です。 一条をの留意すべき点・改善点 「みどりの促進区域」に指定されている国道 176号の沿線において、線化を推進するため、開発行為等や建築行為に対する環境 底協議を行う際、大阪府への情報提供事
内容	・「生垣緑化助成金で付制度」の制度の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及を発に努めなどに、 ・「環境配慮奨励金交付制度」などの際の がな様化を推進します。、 ・沿道線化の手法や鉢植えなどの際の ・沿道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の青電台線化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに、 対して、線化用樹木を配付を通り、みどりの保全や線化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに、 対して、線化用樹木を配付を進めま学れてなどの開発に多り、線化を推進します。 ・宅地化などの開発に多い条化協議である。 ・で、一ので、 ・で、一ので、 ・で、一ので、 ・延供防止の効果で、 ・で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止が、 が変効果す。 ・変焼防止を推進します。 ・変焼防止するを推進します。 ・変焼防止が、 ・変焼防止がます。 ・変焼防止するを推進します。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・で、 ・変焼防止する。 ・で、 ・変焼防止する。 ・で、 ・変焼防止する。 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、	実施状況	花ど相所業課境課設課 担 大府境とり談、振、政施整 とり談、振、政施整 実 環策	モニター指標 C担当課による検証 Bモニター指標 C	(南部) 生垣緑化助成本教(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 堤境配慮奨励金交付件数(南部) みどりに関する(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 環境配慮協議件数(南部) 環境配慮協議線化面積(南部) 環境配慮協議線化(本面積(南部)) 環境を自然環境係)	ー 件 人 件 本 件 mi 自阪たま配い 環境配い 単位	(単年) (単年) (累計) (累計) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年	11 2,954 令和元年度 の管理組合なと 5級化樹木の配 関するイベントを ついては2件交	7 1,664 6 3,373 の実施内容 ごに対して、大付を行いまし 開催しました。 付しました。	一 一	区のみどりの保全や緑化に関する 活用を推進するため、積極的な普 要です。	公園みどり推進課による検証 D公園みどり推	進捗	について取組み見られないこともあることから、施 家の一部しか実施できて いないと評価します。 実施内容の評価 みどりの風のなかったこと ははり、施評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報を信息を言い、地域の線化に関する意識の向上のために、みどりに関するイベントを積極的に行っていくことが必要です。 一条を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を
内容	・「生垣緑化助成金で付制度」の制度の拡充や地区の特性に応じた助成の 基準を検討し、沿道線化を推進すると ともに、制度の普及を発に努めなどに、 ・「環境配慮奨励金交付制度」などの際の がな様化を推進します。、 ・沿道線化の手法や鉢植えなどの際の ・沿道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の手法や鉢植えるで、 ・治道線化の青電台線化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに、 対して、線化用樹木を配付を通り、みどりの保全や線化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに、 対して、線化用樹木を配付を進めま学れてなどの開発に多り、線化を推進します。 ・宅地化などの開発に多い条化協議である。 ・で、一ので、 ・で、一ので、 ・で、一ので、 ・延供防止の効果で、 ・で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止の効果で、 ・変焼防止が、 が変効果す。 ・変焼防止を推進します。 ・変焼防止するを推進します。 ・変焼防止が、 ・変焼防止がます。 ・変焼防止するを推進します。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・変焼防止する。 ・で、 ・変焼防止する。 ・で、 ・変焼防止する。 ・で、 ・変焼防止する。 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、	実施状況	花ど相所業課境課設課 担 大府境課園りとり談い振 政施整 場 阪、政、み推めの 産興環策施備	モニター指標 C担当課による検証 Bモニター指標	(南部) 生垣緑化助成本教(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 生垣緑化助成延長(南部) 環境配慮奨励金交付件数(南部) 緑化樹配付件数(南部) 緑化樹配付本数(南部) 緑(南部) 環境配慮協議件数(南部) 環境配慮協議線化面積(南部) 環境配慮協議線化(南部) 環境配慮協議線化(大田市・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	m 件 人 件 本 件 m 自販た環 単位 件 南部地	(単年) (単年) (累計) (果計) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年) (単年	11 2,954 令和元年度 の管理組合なと 5線化樹木の配 関するイベントを ついては2件交 平成30年度 の令和元年度 みどりの風の道	7 1,664 6 3,373 の実施内容 ごに対して、大 付を行いまし 開催しました。 付しました。 の実施内容	ー	区のみどりの保全や緑化に関する活用を推進するため、積極的な普要です。 指標に対する補足・留意事項	公園みどり推進課による検証	進捗	について取組み見られないこともあることから、施 家の一部しか実施できて いないと評価します。 実施内容の評価 みどりの風のなかったこと ははり、施評価します。	等配付制度」等の制度について十分な理解を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報を得るとともに、地域の緑化に関する信意識の向上のために、みどりに関するイベントを積極的に行っていくことが必要です。 「みどりの促進区域」に指定されている国道176号の沿線において、緑化を推進するため、開発行為等や建築行為に対する環境能を行う際、大阪府への情報提供や事